

北九州市「就職に関する学生アンケート」

報告書

2023 年7月

《 目 次 》

I. 調査の目的と概要	1
1. 調査の目的.....	1
2. 調査対象.....	1
3. 実施方法.....	1
4. 調査期間.....	1
5. 報告書の見方.....	1
II. 調査結果.....	3
1. 属性	3
(1) 性別.....	3
(2) 学年.....	3
(3) 学部・専攻.....	4
(4) 出身地.....	6
(5) 卒業後に予定する進路.....	6
2. 就職について.....	7
(1) 就職する際に重要視するもの.....	7
(2) 希望する業種.....	10
(3) 希望する職種.....	14
(4) 希望する企業の規模.....	22
(5) 就業先として、最も希望する地域.....	26
3. 北九州市の企業について.....	30
(1) 北九州市内の企業・事業所の認知度.....	30
(2) 「就業先として希望する地域」で北九州市を選んだ理由.....	33
(3) 「就業先として希望する地域」で北九州市以外を選んだ理由.....	36
(4) 北九州市内の企業に対する就職先としての検討・情報収集状況.....	39
(5) 北九州市内の企業の情報の入手先.....	43
(6) 北九州市内の企業の情報の入手状況.....	45
(7) 北九州市内の企業の情報発信について充実すべき内容.....	46
(8) 北九州市内の企業について知りたい情報.....	47
4. 興味のある企業について.....	51
(1) 就職したい、興味のある企業.....	51

I. 調査の目的と概要

1. 調査の目的

- ✓ 北九州市では、20代、30代を中心に転出超過（市外に転出する人数が、市内に転入する人数を上回る）の状況にあり、特に20～24歳の転出超過数が最多となっている。
- ✓ この年代の北九州市外への転出の背景の一つとして、「就職」が挙げられる。このため、北九州市内の大学等に在籍する学生を対象に、就職に関する意識やニーズを把握するアンケートを実施した。

2. 調査対象

- ✓ 北九州市内の大学、短期大学、高等専門学校に在籍する学生。
- ✓ 次の学年の学生を対象とした（24,087人）。
 - ・大学（1～6年生／修士・博士課程前期1、2年生）
 - ・短期大学（1、2年生）
 - ・高等専門学校（4、5年生／専攻科1、2年生）
- ✓ 有効回答者数 2,189人（有効回答率約 9.1%）。

3. 実施方法

- ✓ アンケートツール「Questant（クエスタント）」を利用したWEB調査。
- ✓ 北九州市から2. 調査対象に掲げる各学校へアンケートURLとQRコードを送付して、学生への周知をお願いした。
- ✓ アンケート回答のインセンティブとして、アンケート回答者の中から125名に謝礼（デジタルギフト1,000円分）をお送りした。

4. 調査期間

令和5年5月8日（月）～5月26日（金）

5. 報告書の見方

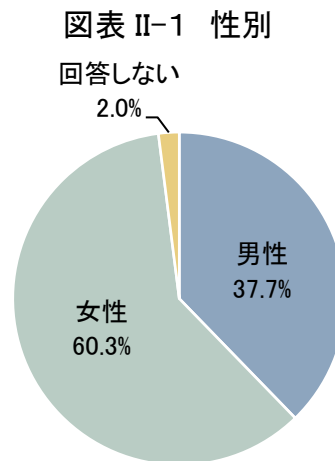
回答構成比は四捨五入しているため、合計が100%にならない場合がある。

II. 調査結果

1. 属性

(1) 性別

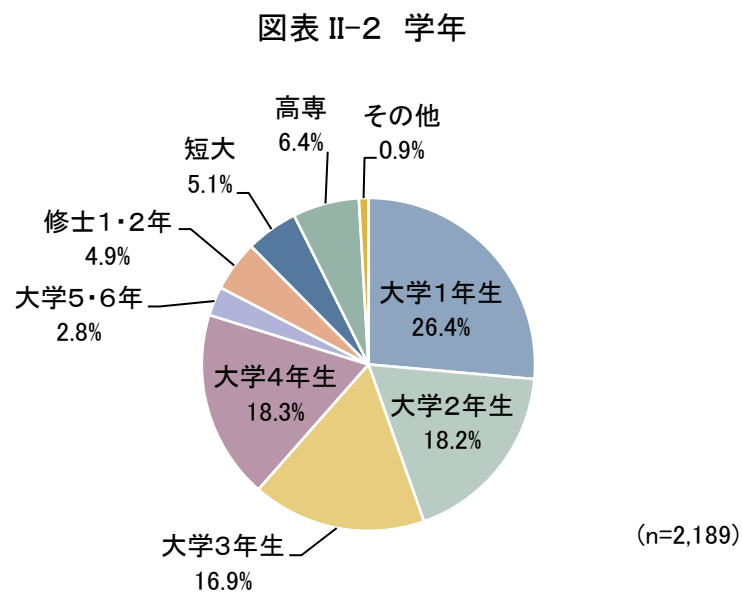
性別は、「女性」の割合が 60.3%、「男性」が 37.7%、「回答しない」が 2.0%となっている。



(n=2,189)

(2) 学年

学年は、「大学1年生」の割合が最も高く 26.4%となっている。次いで、「大学4年生 (18.3%)」、「大学2年生 (18.2%)」となっている。



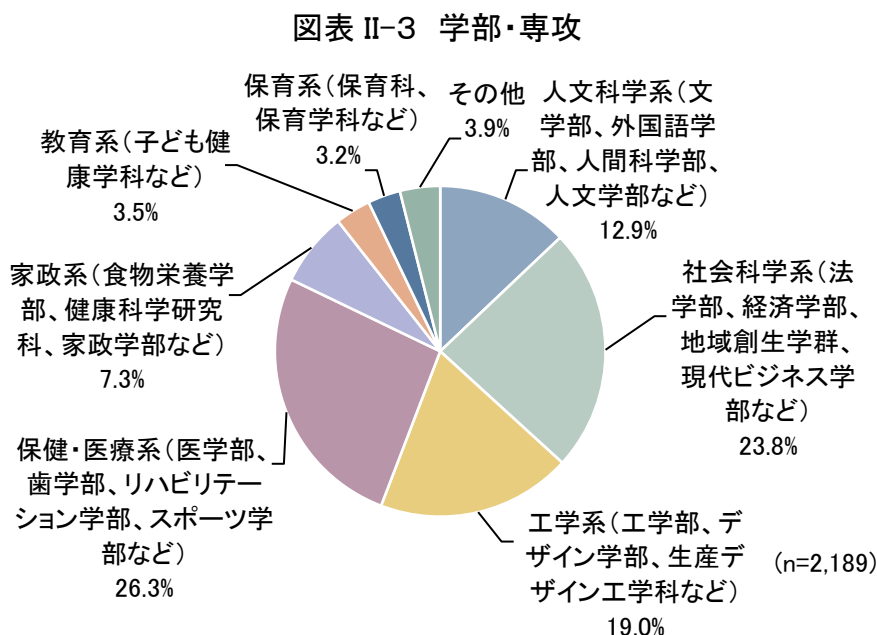
(n=2,189)

(3) 学部・専攻

学部・専攻は、「保健・医療系（医学部、歯学部、リハビリテーション学部、スポーツ学部など）」の割合が最も高く 26.3%となっている。次いで、「社会科学系（法学部、経済学部、地域創生学群、現代ビジネス学部など）（23.8%）」、「工学系（工学部、デザイン学部、生産デザイン工学科など）（19.0%）」となっている。

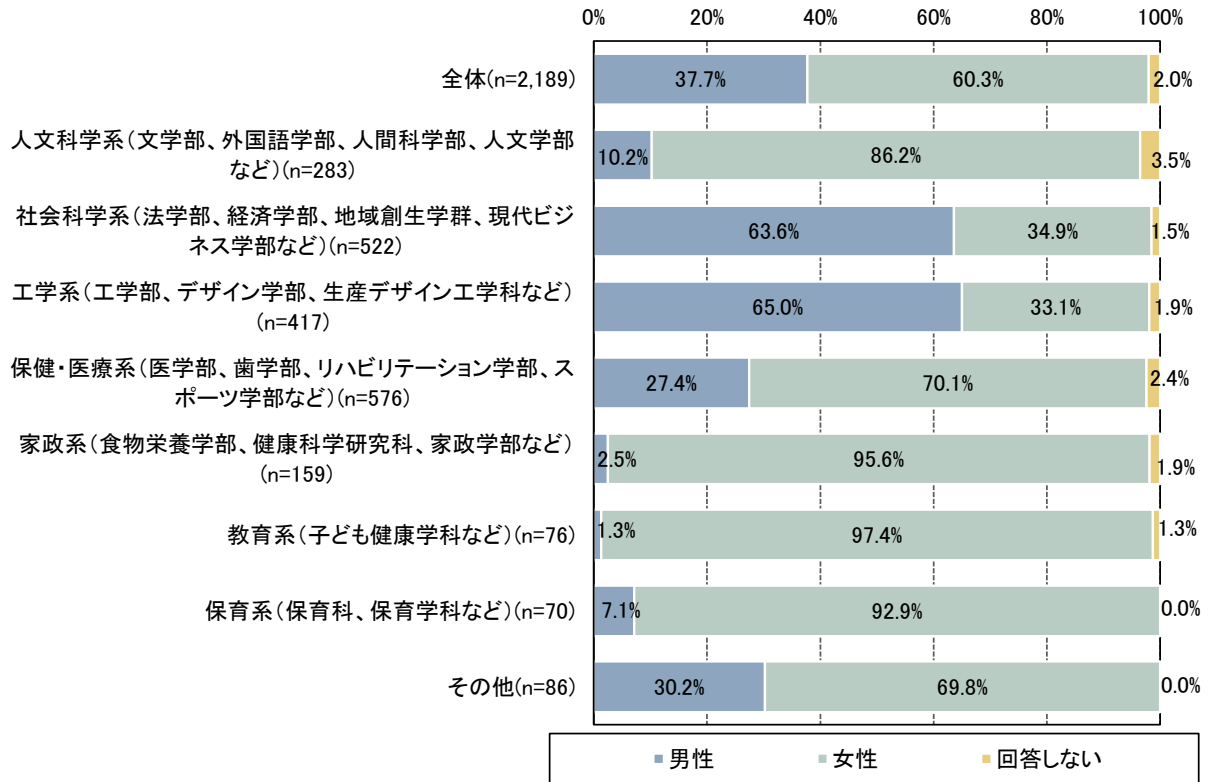
学部・専攻の性別の内訳（図表Ⅱ-4）を見ると、「人文科学系（文学部、外国語学部、人間科学部、人文学部など）」、「家政系（食物栄養学部、健康科学研究科、家政学部など）」、「教育系（子ども健康学科など）」、「保育系（保育科、保育学科など）」において、85%以上が女性となっている。

一方、「社会科学系（法学部、経済学部、地域創生学群、現代ビジネス学部など）」、「工学系（工学部、デザイン学部、生産デザイン工学科など）」では 60%以上が男性となっている。

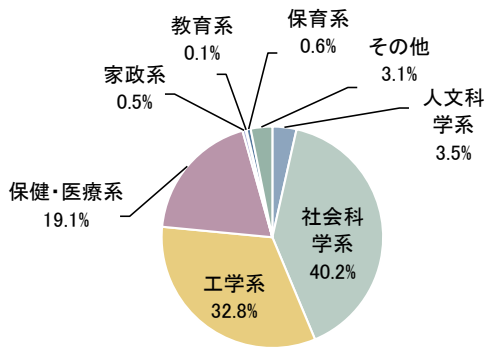


※以降の分析では、「人文科学系、社会科学系、教育系、保育系」を「文系」、「工学系、保健・医療系、家政系」を「理系」と定義する。

図表 II-4 学部・専攻【1. (1)性別とのクロス結果】

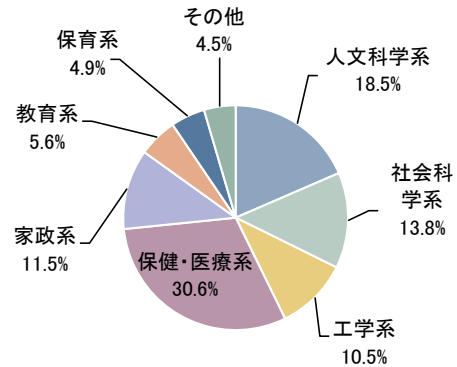


【男性】



男性(n=826)

【女性】

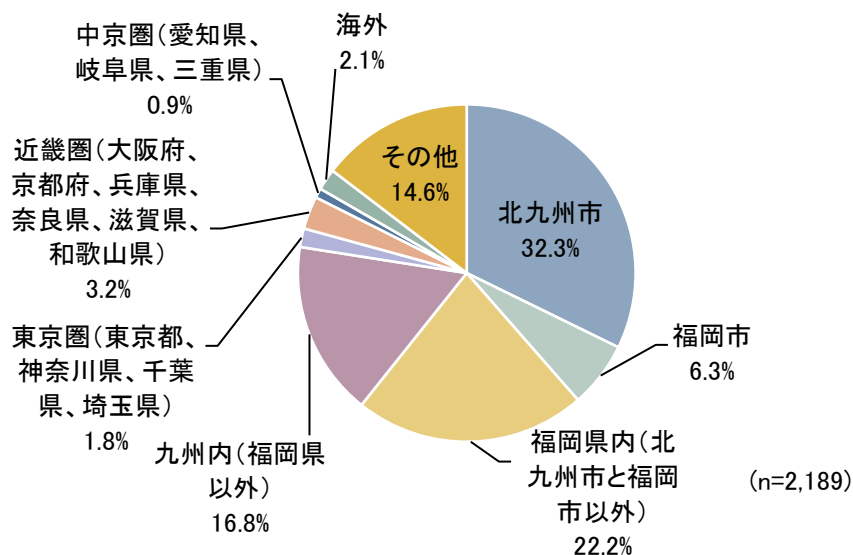


女性(n=1,319)

(4) 出身地

出身地は、「北九州市」の割合が最も高く 32.3%となっている。次いで、「福岡県内（北九州市と福岡市以外）（22.2%）」、「九州内（福岡県以外）（16.8%）」となっている。

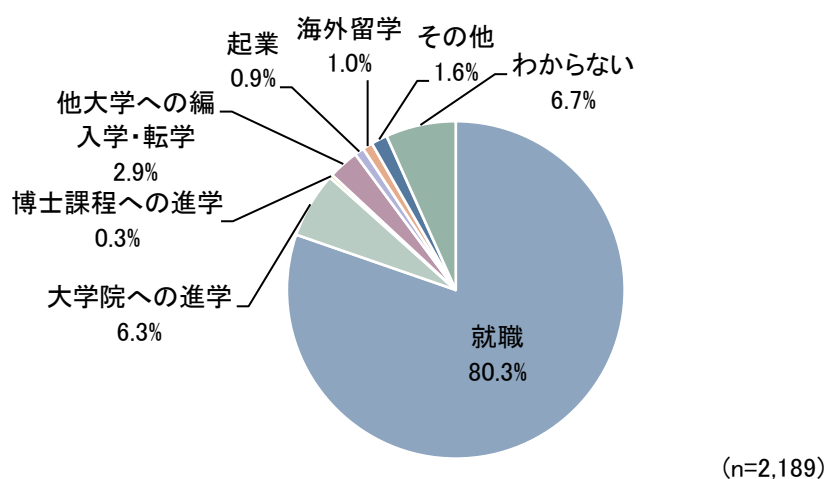
図表 II-5 出身地



(5) 卒業後に予定する進路

卒業後に予定する進路は、「就職」の割合が最も高く 80.3%となっている。次いで、「わからない（6.7%）」、「大学院への進学（6.3%）」となっている。

図表 II-6 卒業後に予定する進路



2. 就職について

以降の設問では、前ページ1.(5)「卒業後に予定する進路」において「就職」、「大学院への進学」、「博士課程への進学」、「他大学への編入・転学」を選んだ回答者(2,189名のうち、1,967名)に対して質問を行った。

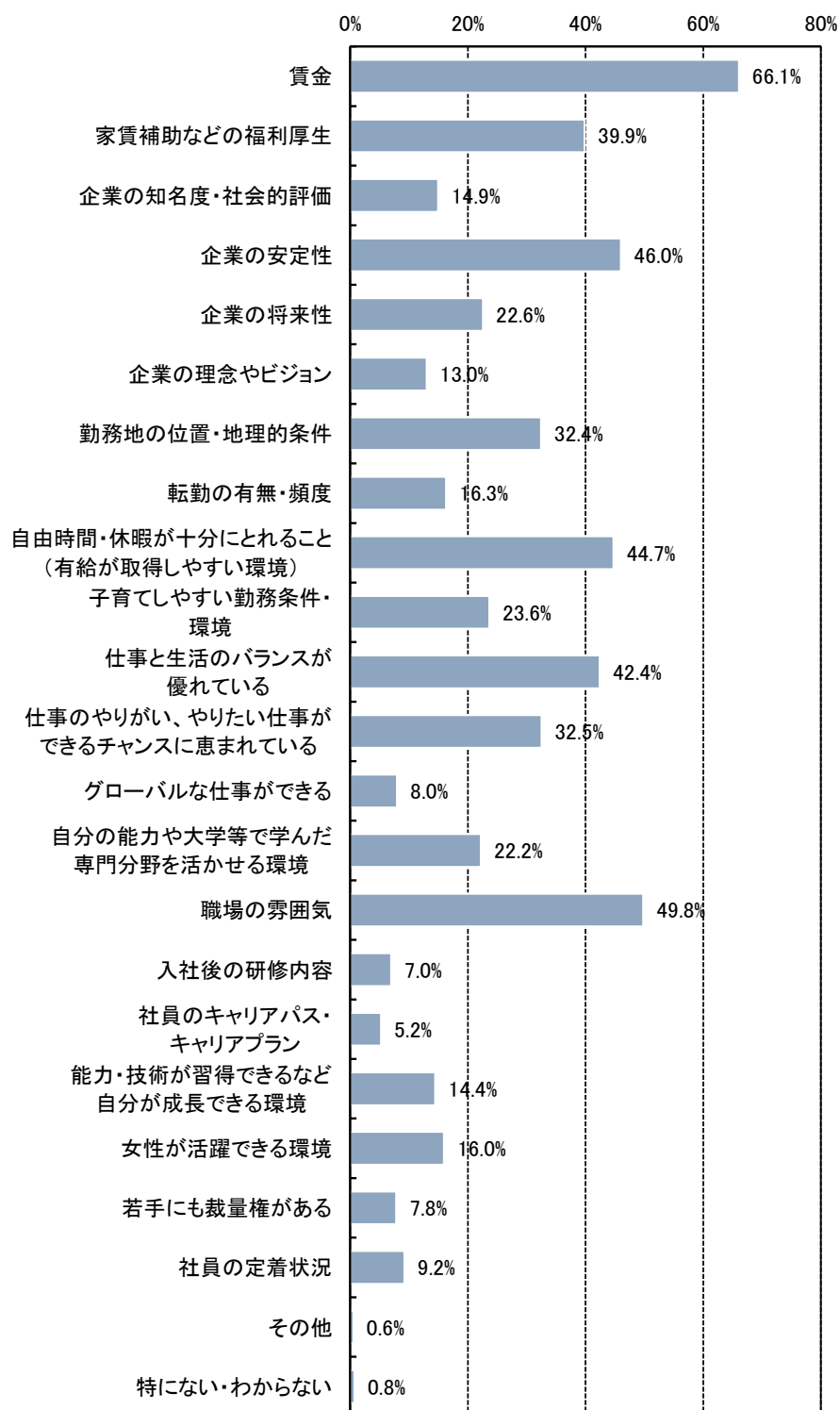
(1) 就職する際に重要視するもの

就職する際に重要視するものは、「賃金」の割合が最も高く 66.1%となっている。次いで、「職場の雰囲気(49.8%)」、「企業の安定性(46.0%)」となっている。

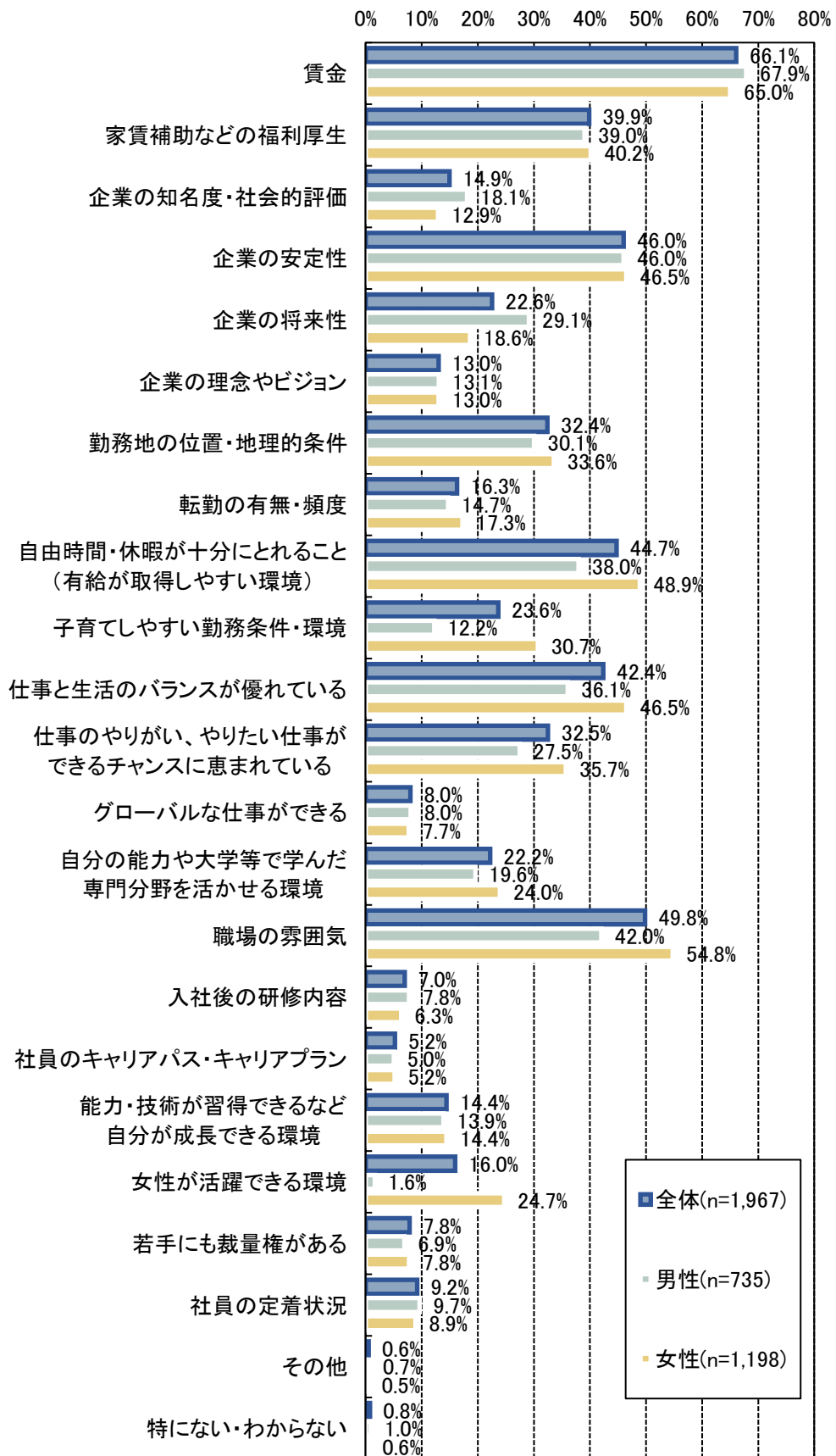
性別によるクロス集計結果(図表Ⅱ-8)を見ると、「企業の将来性」、「企業の知名度・社会的評価」については男性が、「自由時間・休暇が十分に取れること(有休が取得しやすい環境)」や「仕事と生活のバランスが優れている」などの福利厚生、「仕事のやりがい、やりたい仕事ができるチャンスに恵まれている」、「職場の雰囲気」については女性が、より重要視する傾向にある。

図表 II-7 就職する際に重要視するもの(複数回答)

(n=1,967)



図表 II-8 就職する際に重要視するもの(複数回答)【1. (1)性別とのクロス結果】



(2) 希望する業種

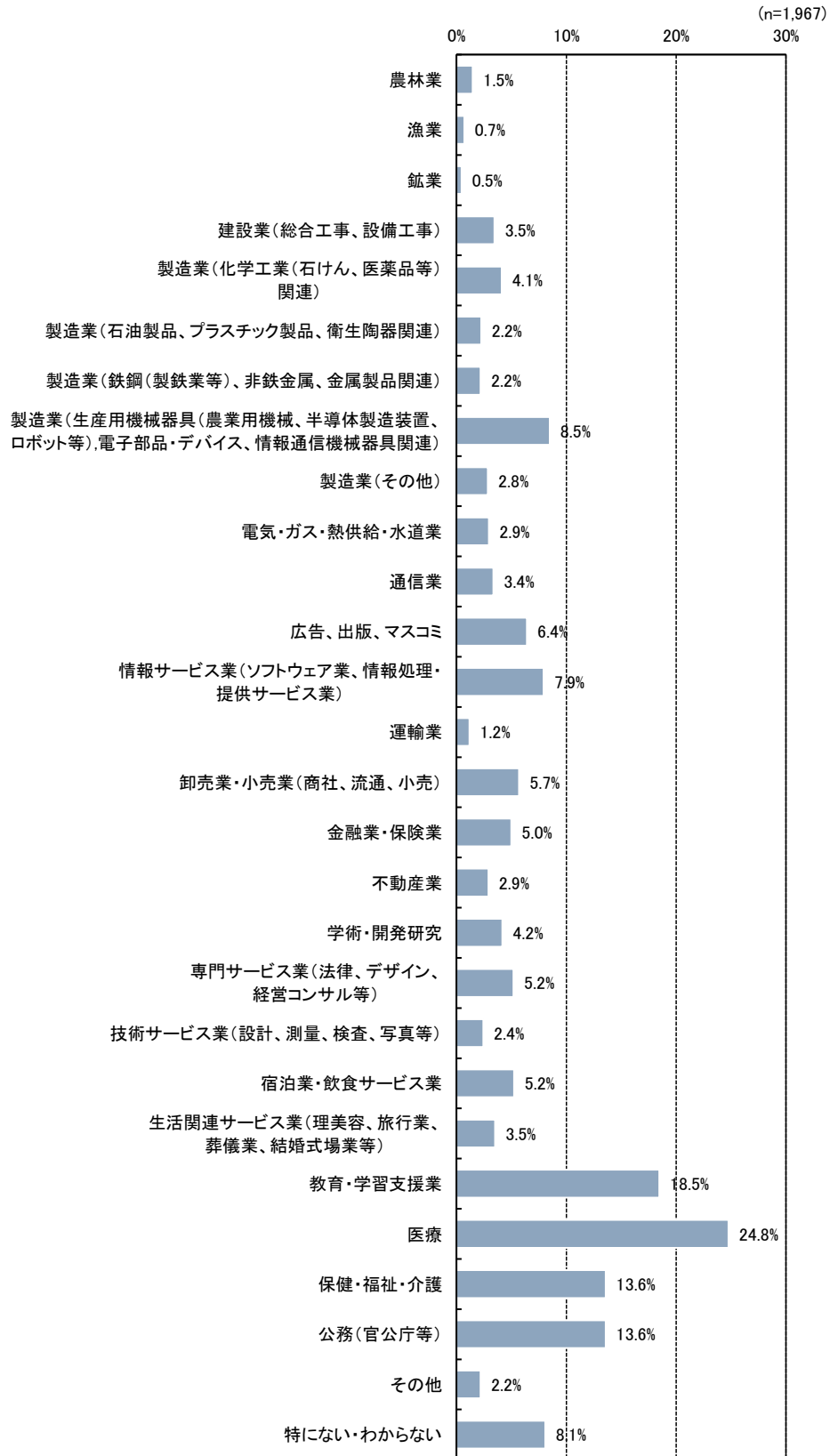
希望する業種は、「医療」の割合が最も高く 24.8%となっている。次いで、「教育・学習支援業 (18.5%)」、「保健・福祉・介護 (13.6%)」、「公務 (官公庁等) (13.6%)」となっている。

性別によるクロス集計結果 (図表Ⅱ-10) を見ると、男性は「製造業 (生産用機械器具 (農業用機械、半導体製造装置、ロボット等)、電子部品・デバイス、情報通信機械器具関連)」や「情報サービス業 (ソフトウェア業、情報処理・提供サービス業)」、「公務 (官公庁等)」を志望する割合が、女性は「教育・学習支援業」、「医療」、「保健・福祉・介護」を志望する割合が多い。

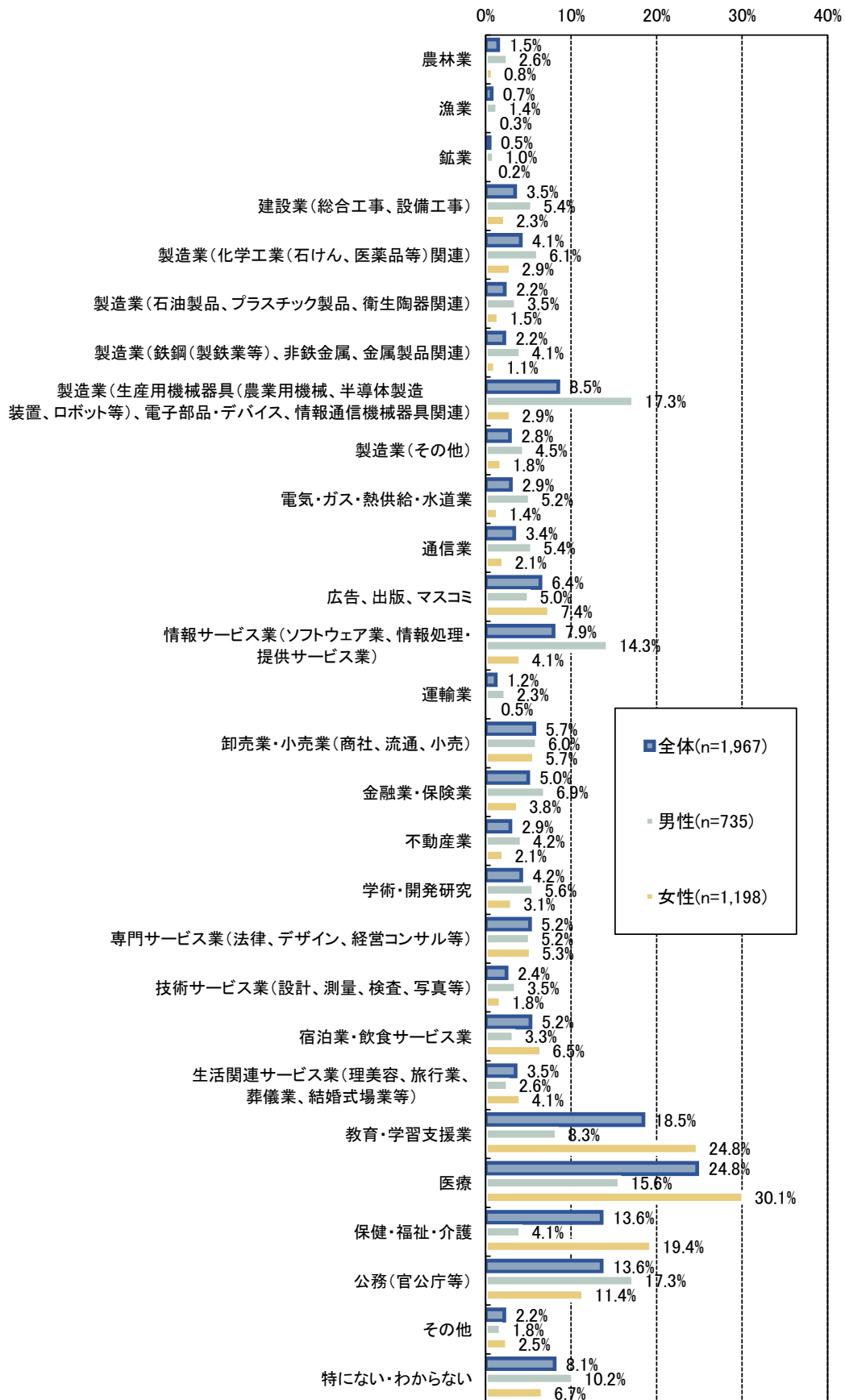
就業先として希望する地域によるクロス集計結果 (図表Ⅱ-11) を見ると、福岡県外を希望する学生は「製造業 (生産用機械器具 (農業用機械、半導体装置、ロボット等)、電子部品・デバイス、情報通信機械器具関係)」や「情報サービス業 (ソフトウェア業、情報処理・提供サービス業)」などが多い。一方、北九州市を希望する学生は「教育・学習支援業」、「医療」、「保健・福祉・介護」が多い。

なお、これらの結果については、有効回答者数 (1,967 人) のうち、527 人が保健・医療系の学部・専攻であることに留意する必要がある。

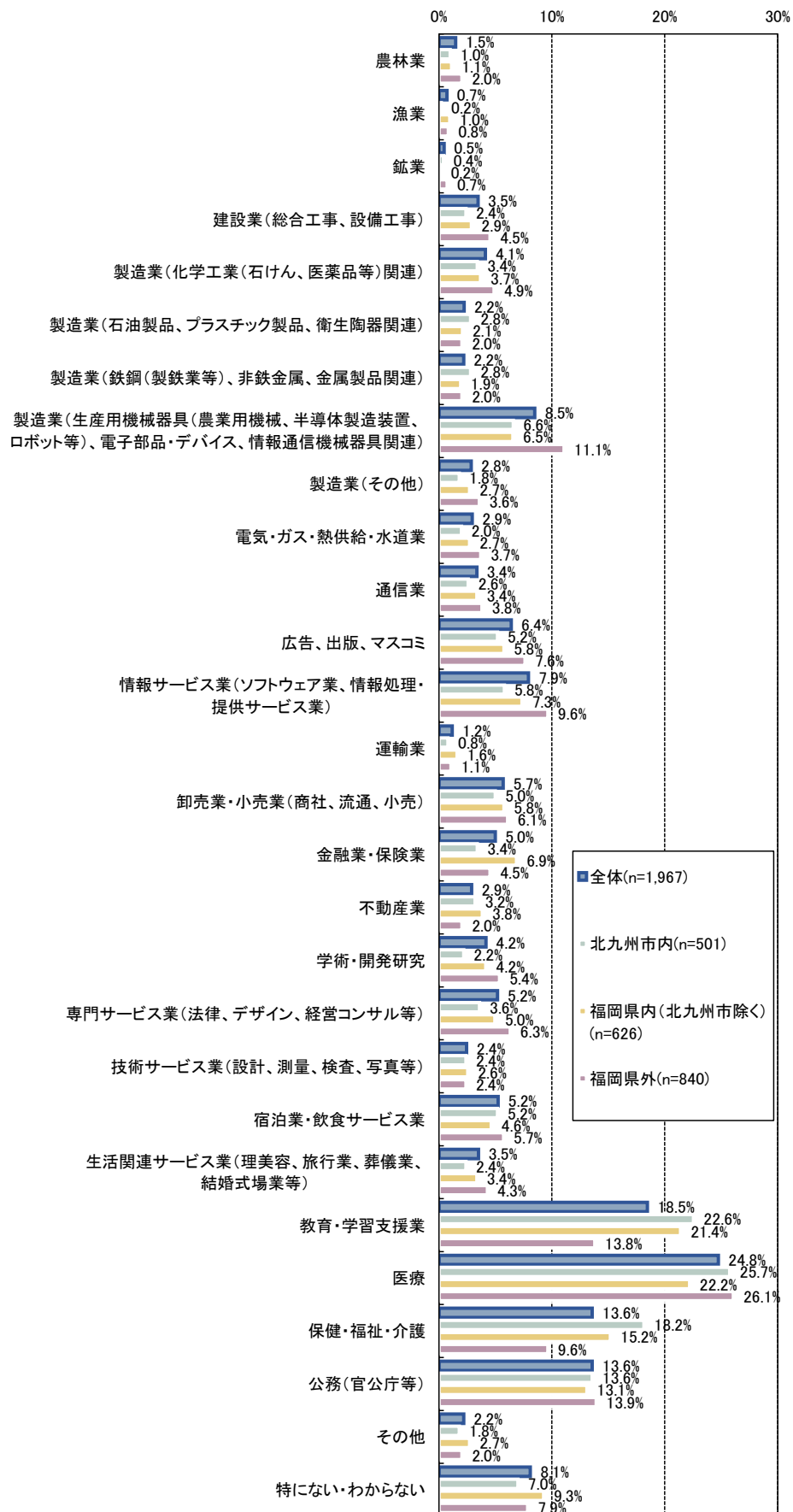
図表 II-9 希望する業種(複数回答)



図表 II-10 希望する業種(複数回答)【1. (1)性別とのクロス結果】



図表 II-11 希望する業種(複数回答)【2. (5)就業先として希望する地域とのクロス結果】



(3) 希望する職種

希望する職種は、「専門資格（栄養士、美容師、教員、医師、薬剤師、看護師など）」の割合が最も高く 43.7%となっている。次いで、「技術・研究（研究、開発、建築設計、品質管理、製造など）（18.1%）」、「事務管理（事務、営業アシスタント、秘書、経理など）（14.6%）」となっている。

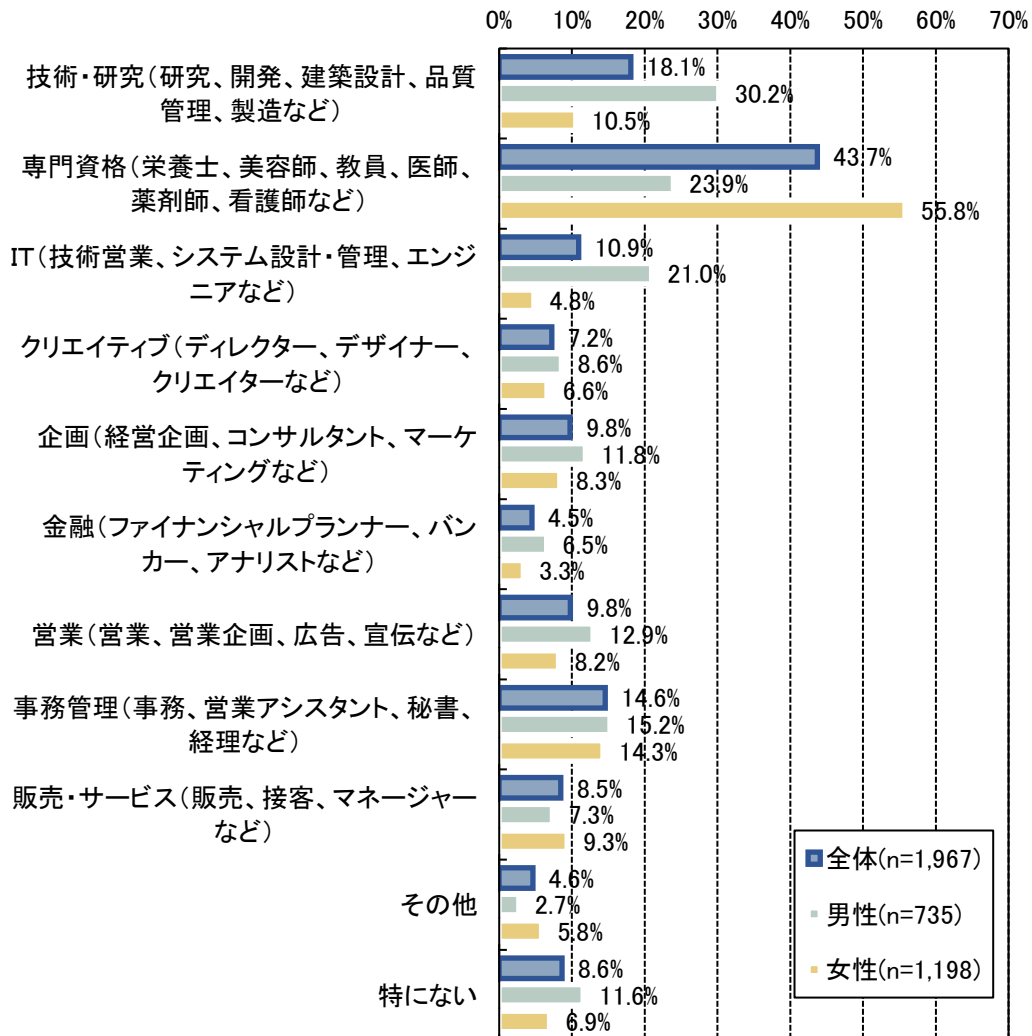
性別によるクロス集計結果（図表Ⅱ-12）を見ると、男性は「技術・研究（研究、開発、建築設計、品質管理、製造など）」を希望する割合が、女性は「専門資格（栄養士、美容師、教員、医師、薬剤師、看護師など）」を希望する割合が多い。

学部・専攻によるクロス集計結果（図表Ⅱ-13）を見ると、「工学系」が「技術・研究（研究、開発、建築設計、品質管理、製造など）」を希望し、「保健・医療系」、「家政系」、「教育系」などが「専門資格（栄養士、美容師、教員、医師、薬剤師、看護師など）」を希望している。

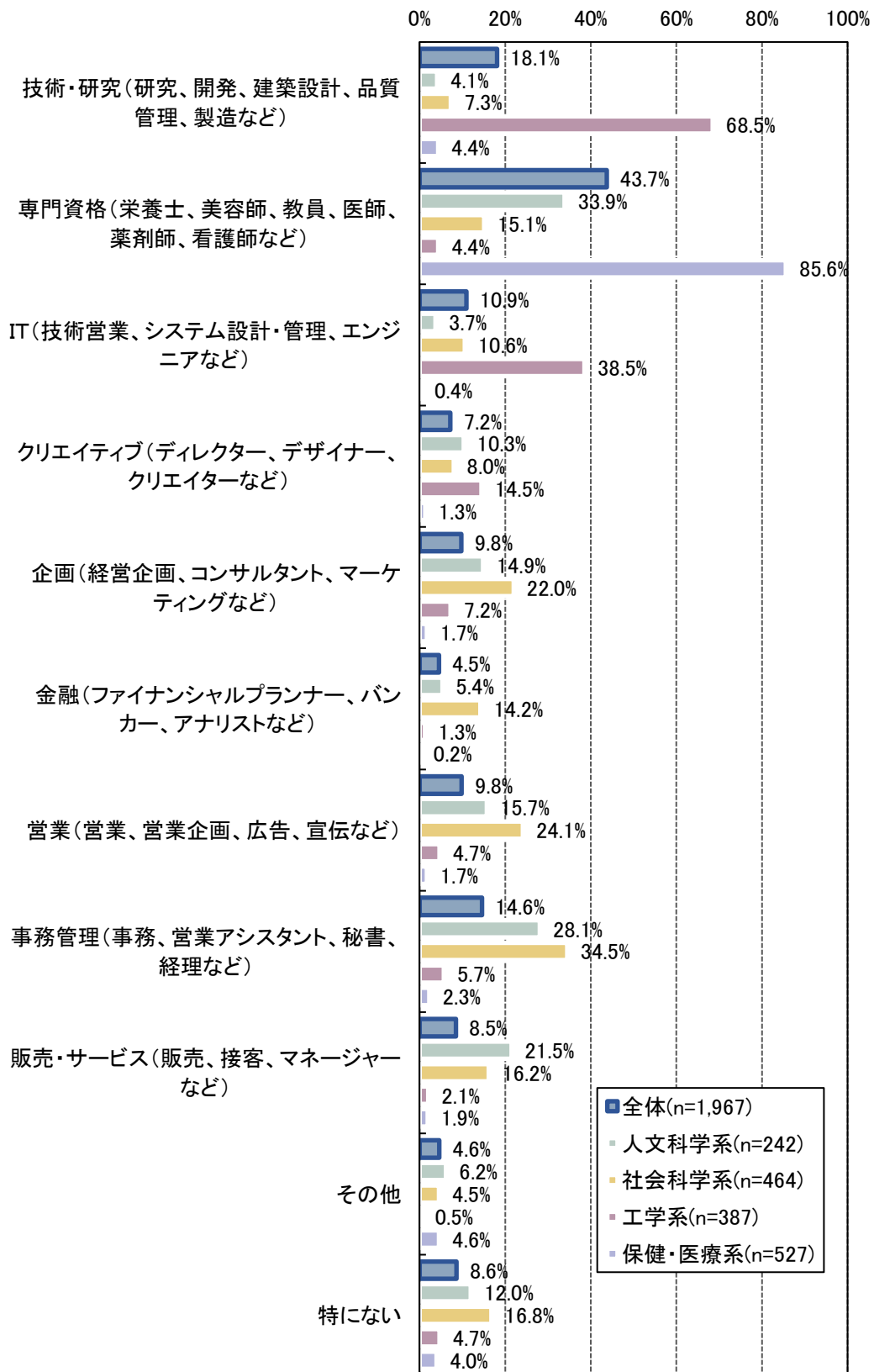
なお、この結果については、有効回答者数（1,967人）のうち、527人が保健・医療系の学部・専攻であることに留意する必要がある。

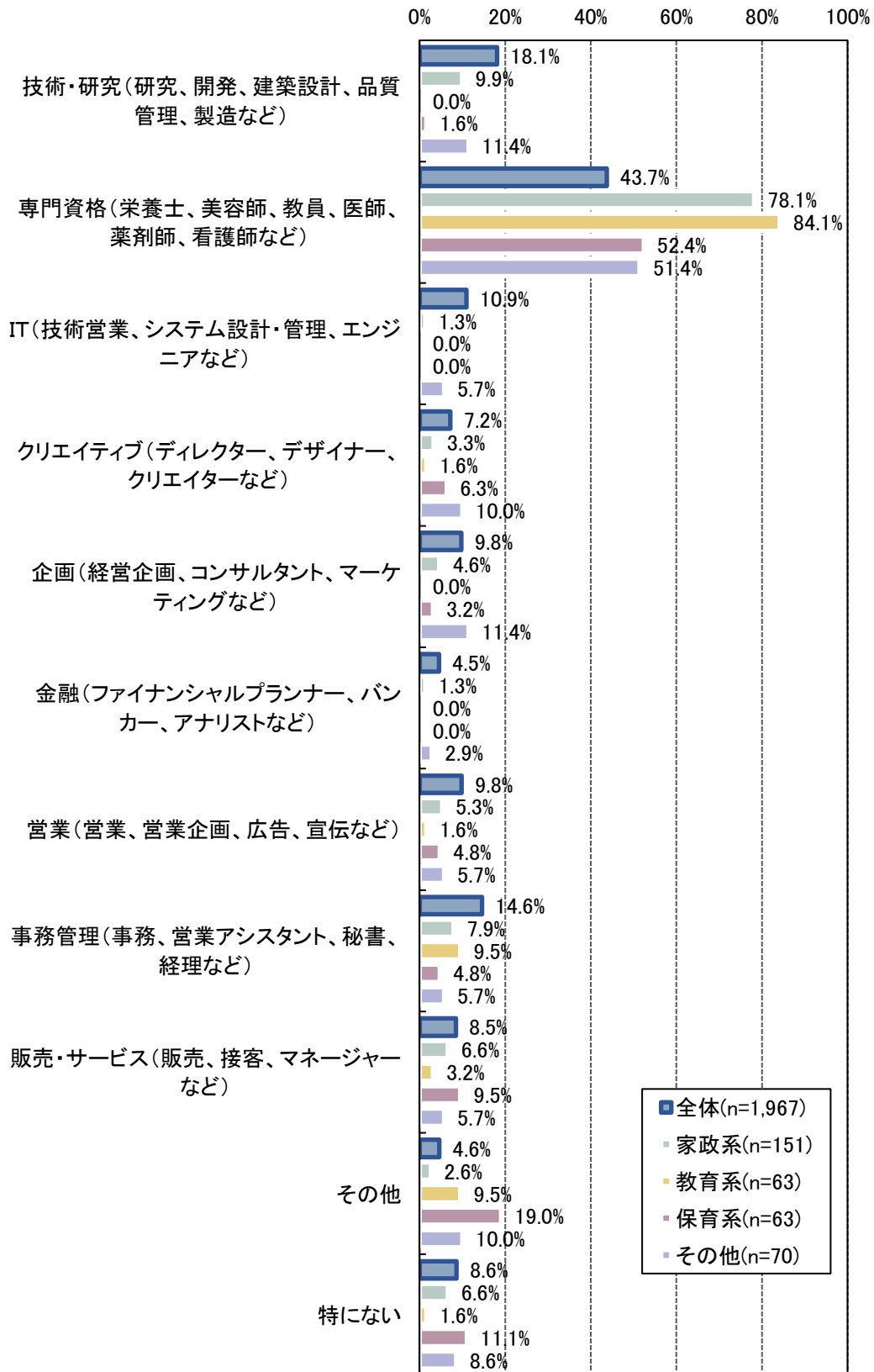
また、有効回答者数の約 27%を占める「保健・医療系」とその他の学部でクロス集計した結果（図表Ⅱ-14）を見ると、保健・医療系の学部の学生が「専門資格（栄養士、美容師、教員、医師、薬剤師、看護師など）」を選ぶ割合は約 8割と、将来希望する職種が明確になっている。

図表 II-12 希望する職種(複数回答)【1. (1)性別とのクロス結果】



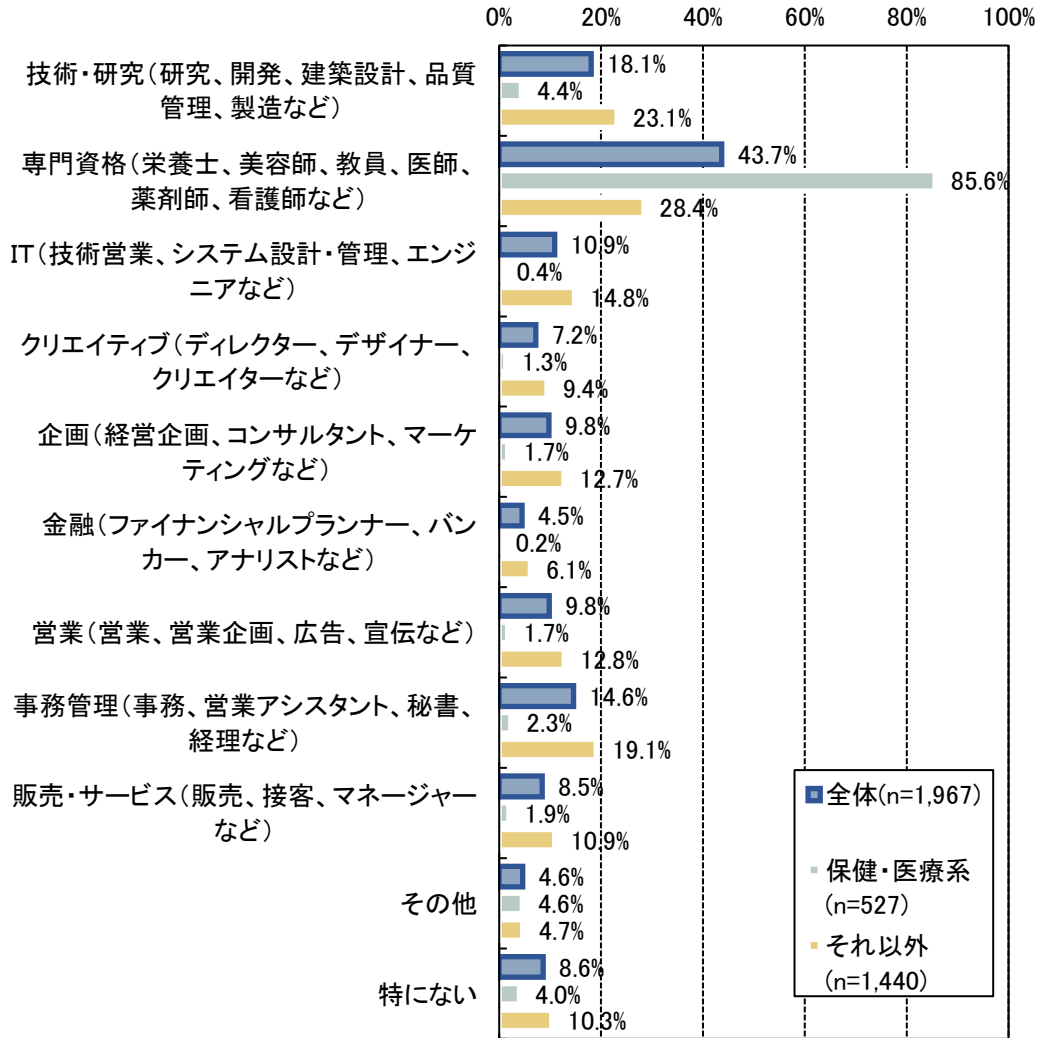
図表 II-13 希望する職種(複数回答)【1. (3)学部・専攻とのクロス結果】



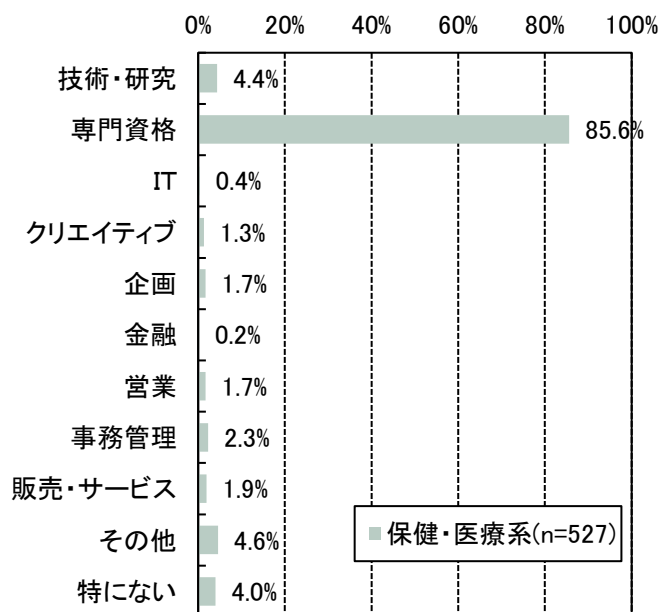


図表 II-14 希望する職種(複数回答)

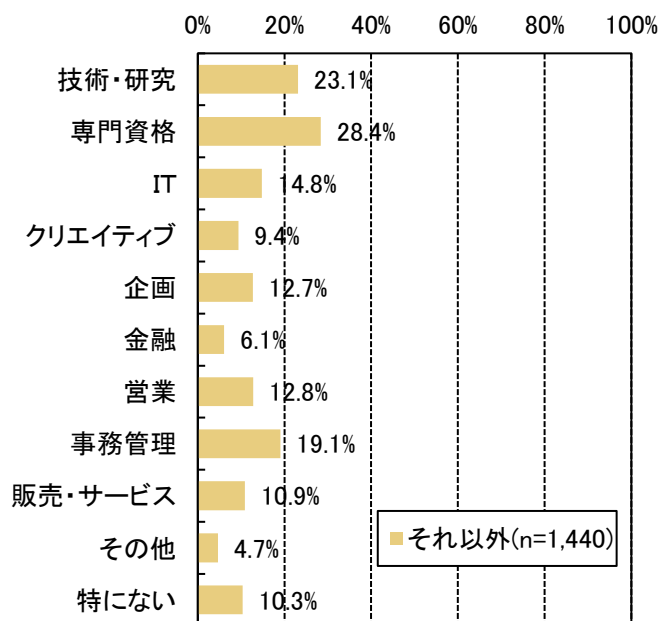
【1. (3)学部・専攻(保健・医療系とその他)とのクロス結果】



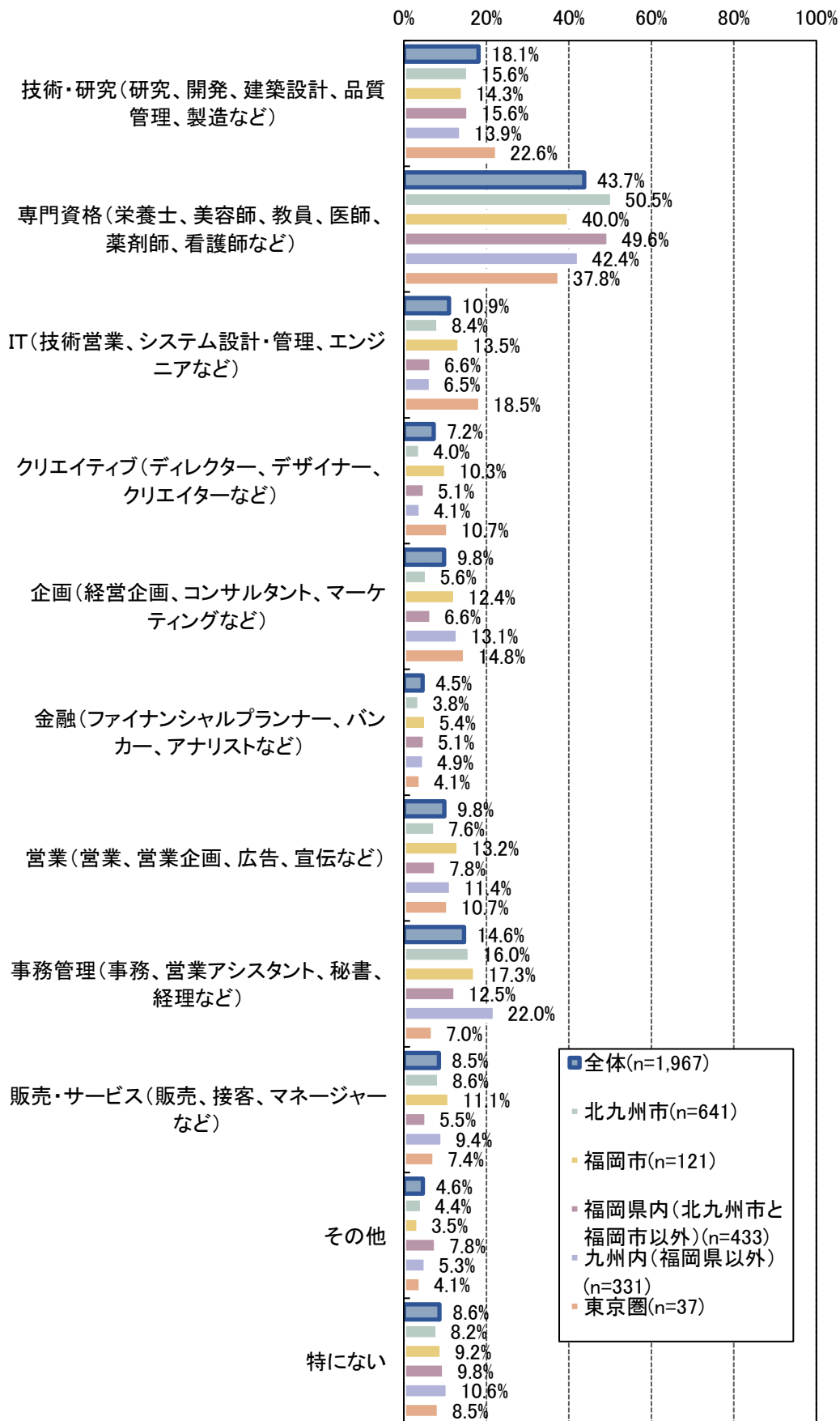
【保健・医療系】

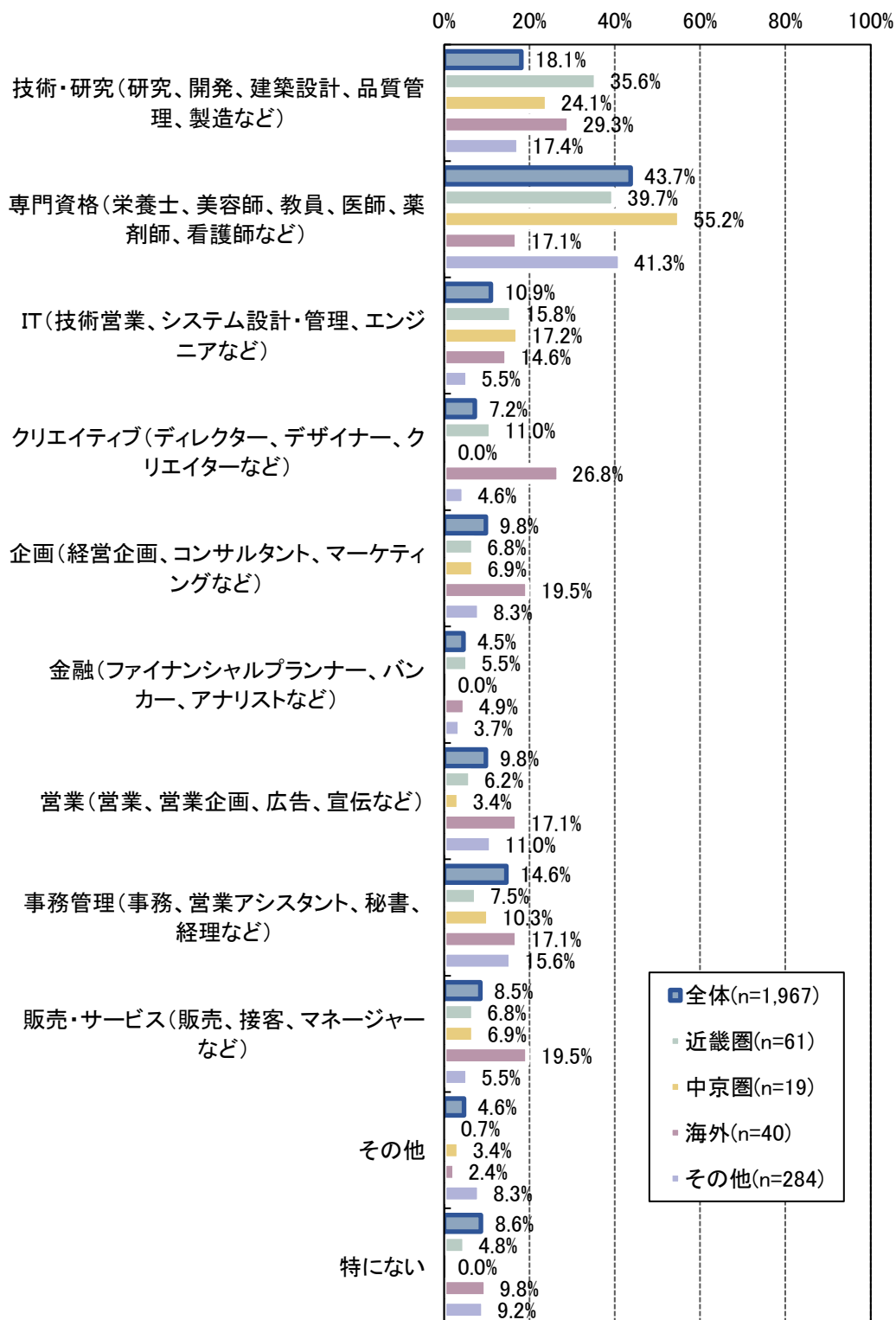


【それ以外】



図表 II-15 希望する職種(複数回答)【2. (5)就業先として希望する地域のクロス結果】





(4) 希望する企業の規模

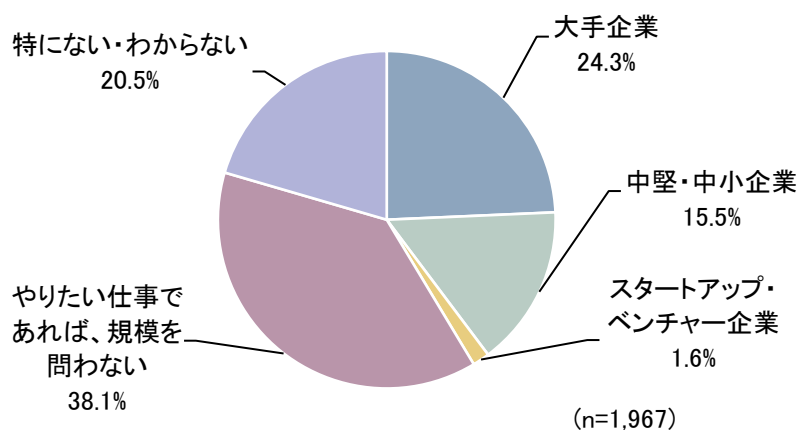
希望する企業の規模は、「やりたい仕事であれば、規模を問わない」の割合が最も高く38.1%となっている。次いで、「大手企業（24.3%）」、「特にない・わからない（20.5%）」となっている。

性別によるクロス集計結果（図表Ⅱ-17）を見ると、男性は「大手企業」を希望する割合が、女性は「やりたい仕事であれば、規模は問わない」、「特にない・わからない」とする割合が多い。

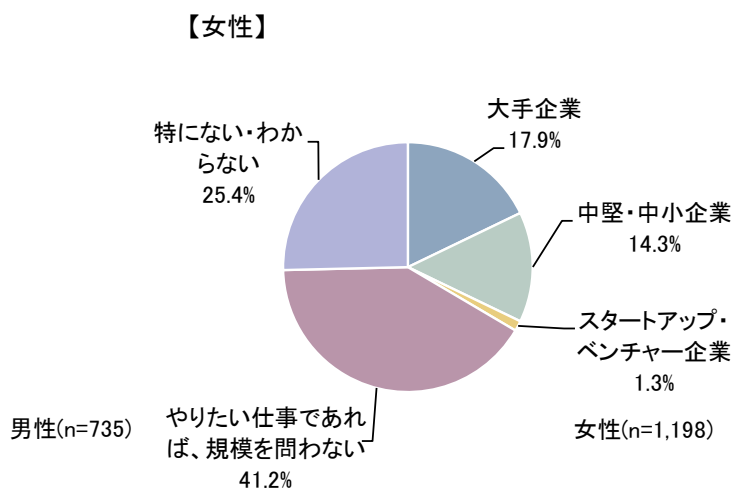
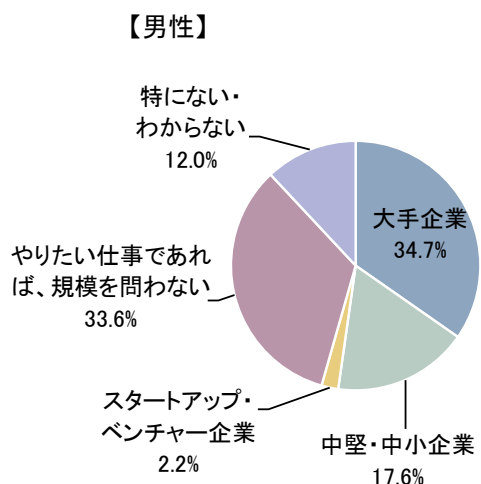
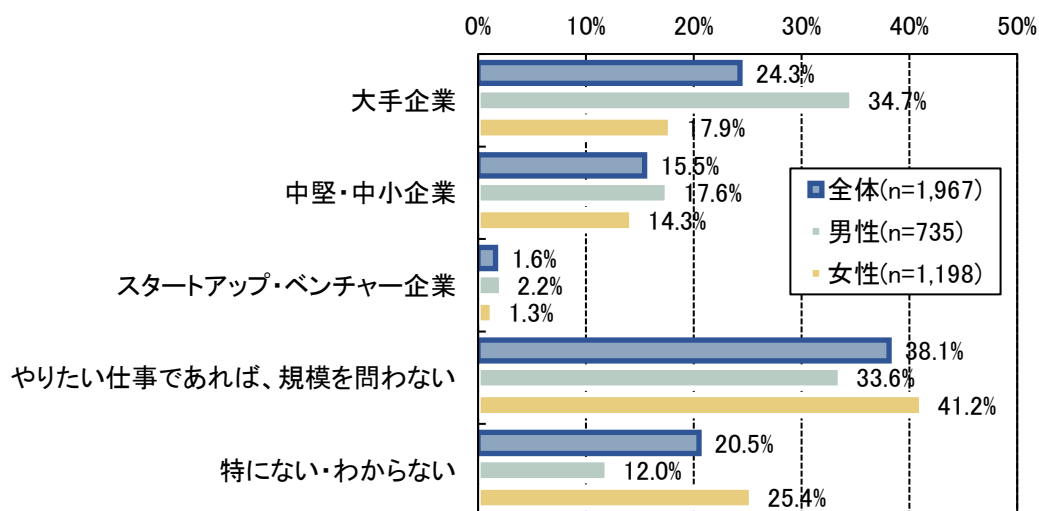
学部・専攻（文系・理系）によるクロス集計結果（図表Ⅱ-18）を見ると、理系は「大手企業」を希望する割合が、文系は「やりたい仕事であれば、規模を問わない」とする割合が多い。

就業先として希望する地域によるクロス集計結果（図表Ⅱ-19）を見ると、「東京圏」、「近畿圏」を希望する学生は「大手企業」を希望する割合が多く、「福岡市」を希望する学生では「大手企業」と「中堅・中小企業」を希望する割合が同程度となっている。

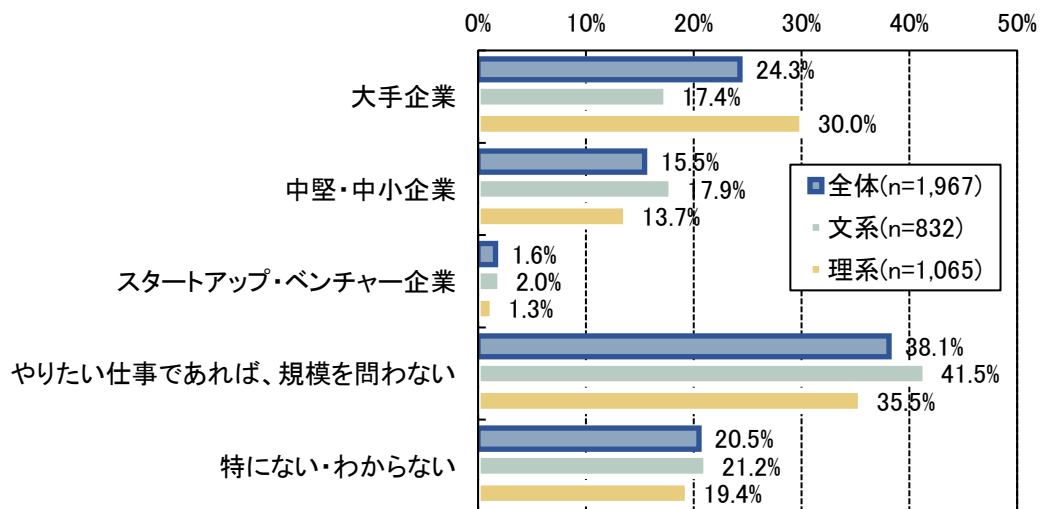
図表Ⅱ-16 希望する企業の規模



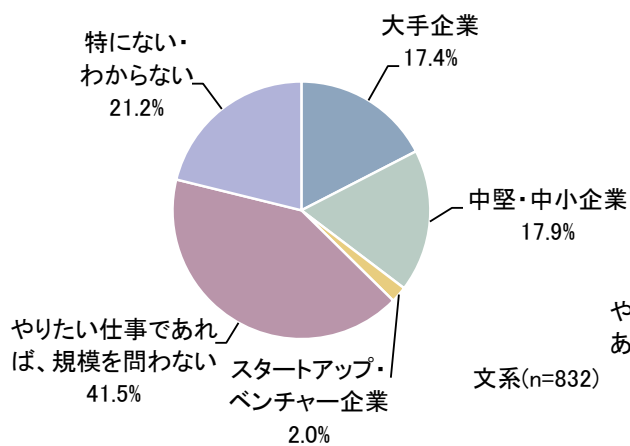
図表 II-17 希望する企業の規模【1. (1)性別とのクロス結果】



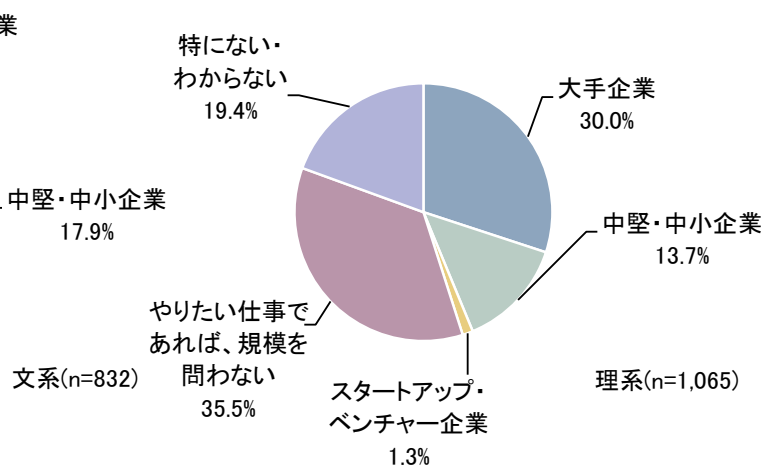
図表 II-18 希望する企業の規模【1. (3)学部・専攻(文系・理系)とのクロス結果】



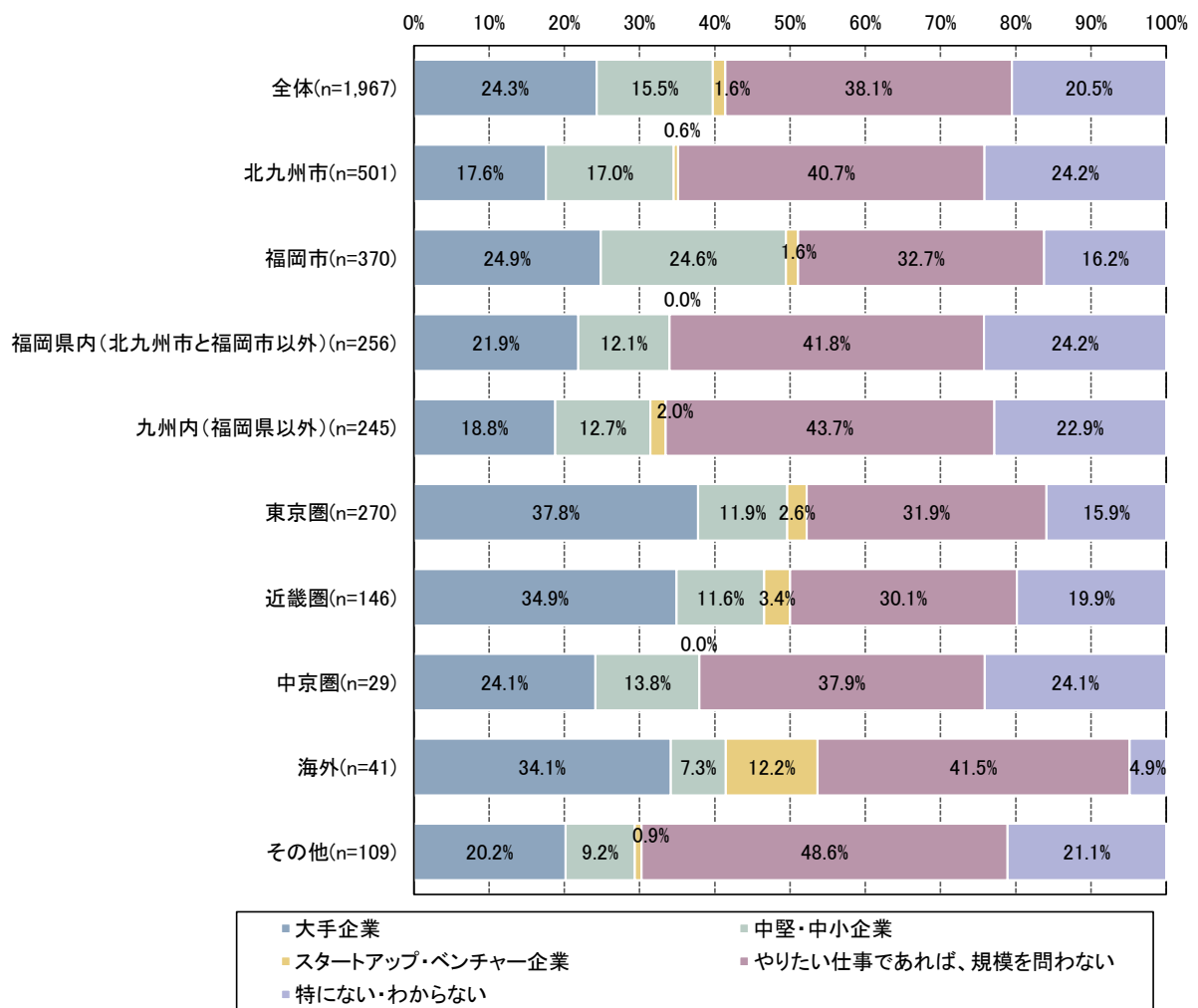
【文系】



【理系】



図表 II-19 希望する企業の規模【2. (5)就業先として希望する地域とのクロス結果】



(5) 就業先として、最も希望する地域

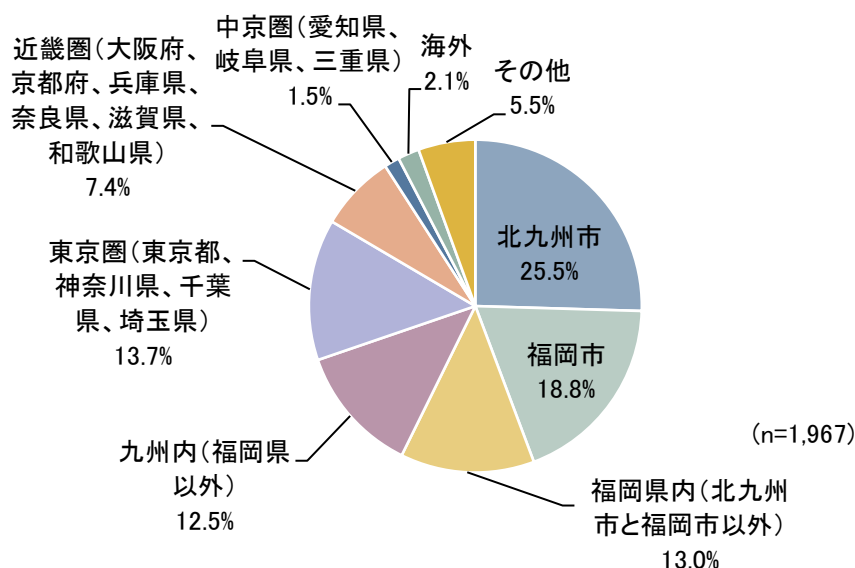
就業先として、最も希望する地域は、「北九州市」の割合が最も高く 25.5%となっている。次いで、「福岡市 (18.8%)」、「東京圏 (東京都、神奈川県、千葉県、埼玉県) (13.7%)」となっている。

性別によるクロス集計結果 (図表 II-21) を見ると、男性は「東京圏」を希望する割合が、女性は「北九州市」を希望する割合が多い。

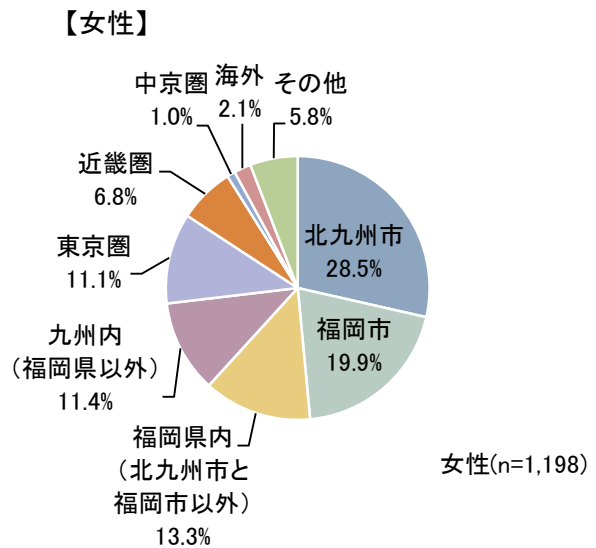
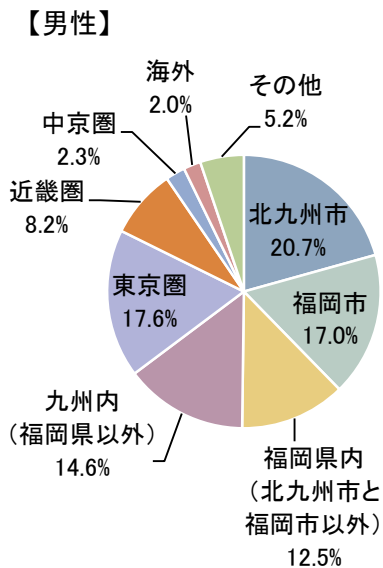
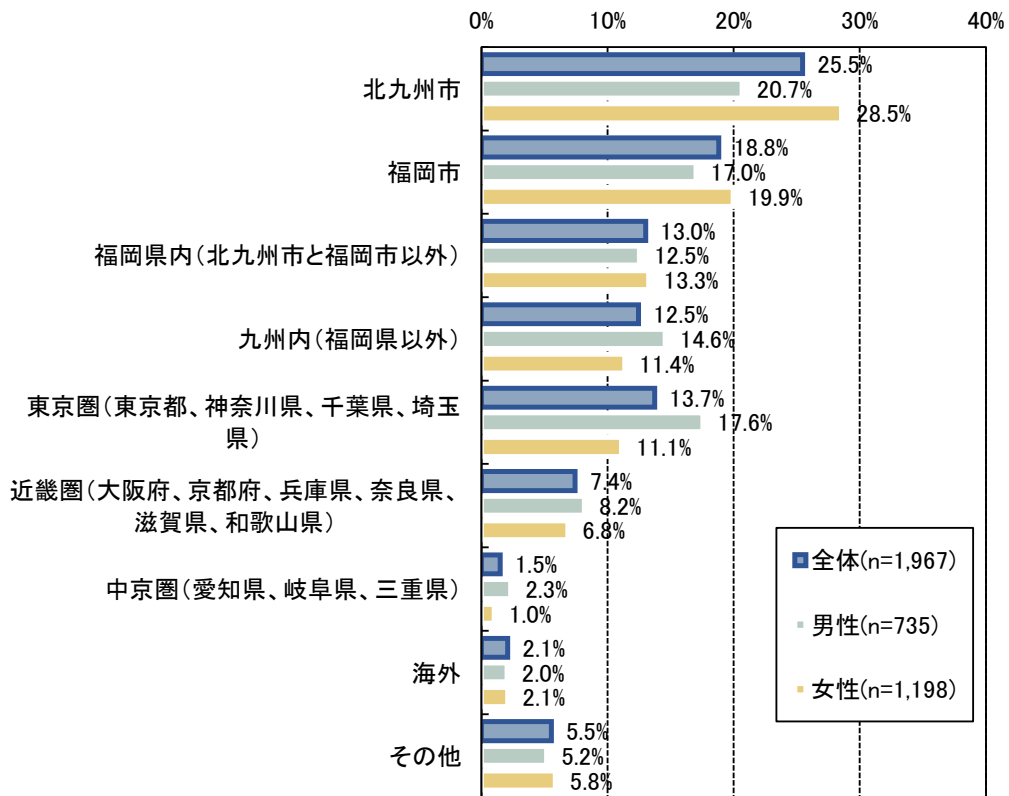
学部・専攻 (文系・理系) によるクロス集計結果 (図表 II-22) を見ると、理系は「東京圏」、「近畿圏」を希望する割合が、文系は「北九州市」を希望する割合が多い。

出身地によるクロス集計結果 (図表 II-23) を見ると、どの地域も「出身地」との繋がりが強いことがわかる。

図表 II-20 就業先として、最も希望する地域

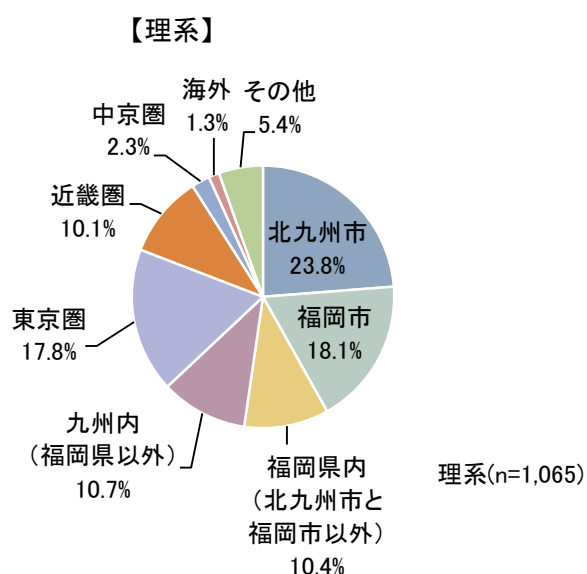
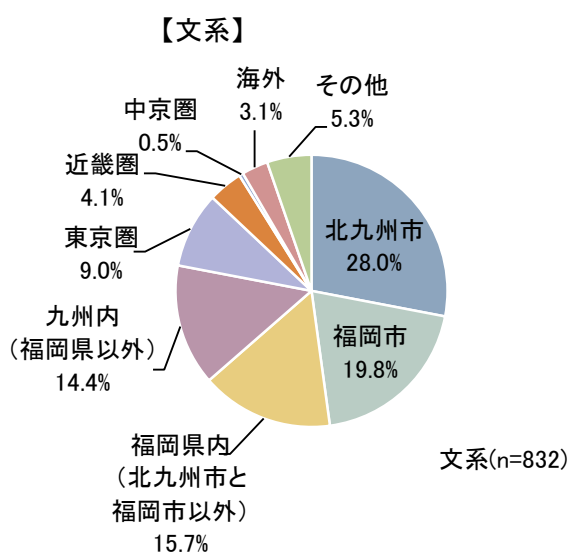
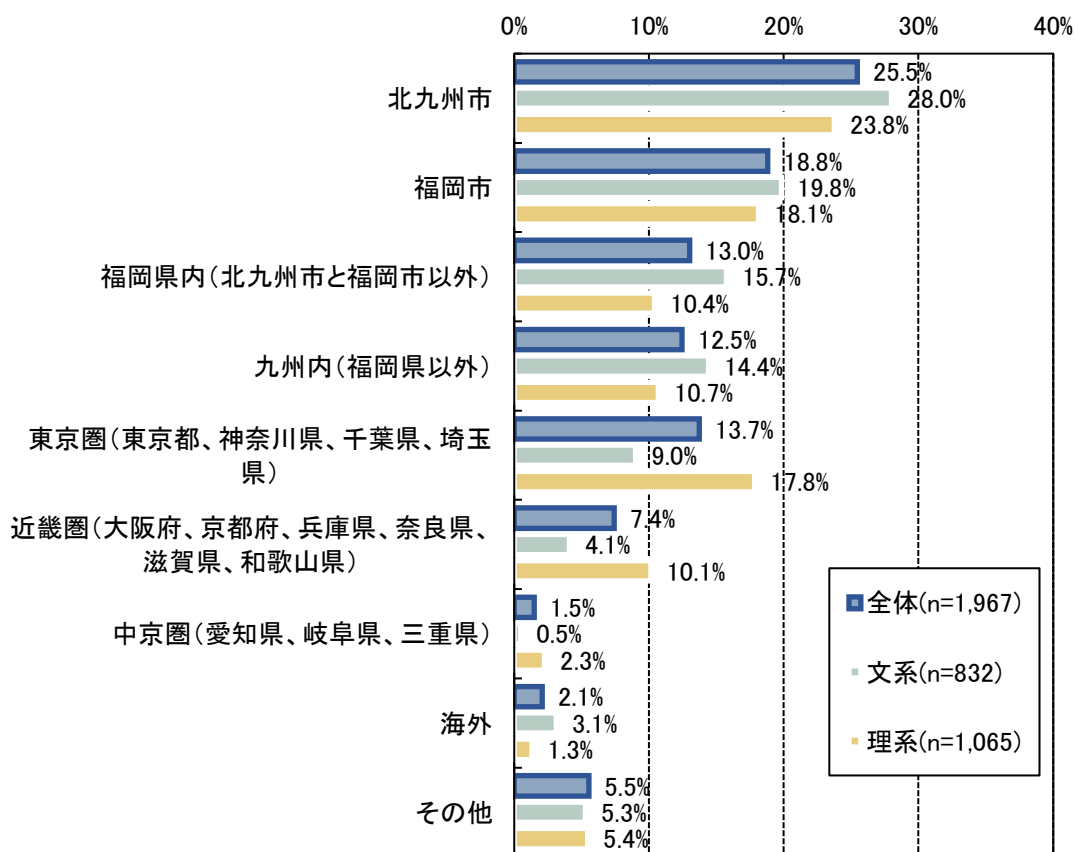


図表 II-21 就業先として、最も希望する地域【1. (1)性別とのクロス結果】

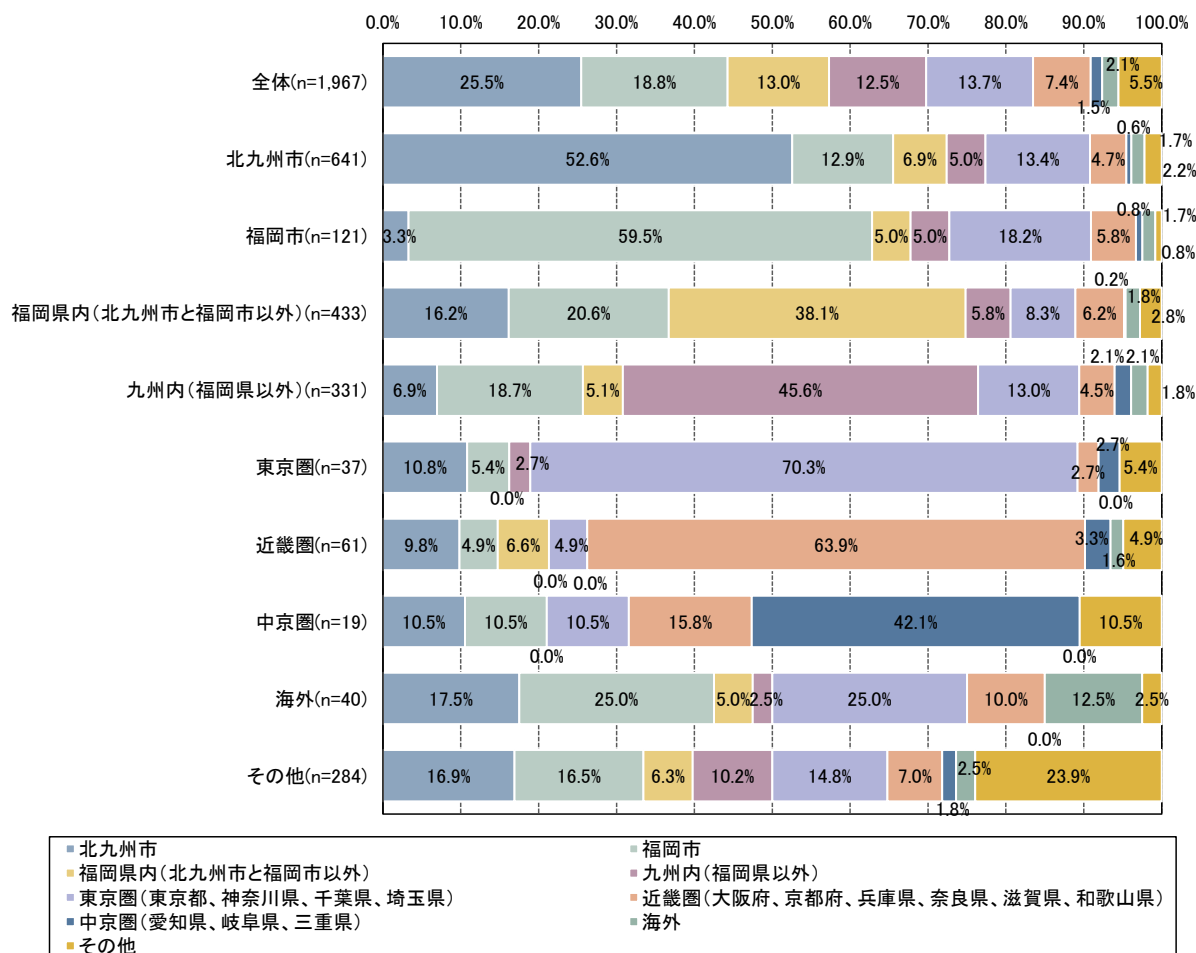


図表 II-22 就業先として、最も希望する地域

【1. (3)学部・専攻(文系・理系)とのクロス結果】



図表 II-23 就業先として、最も希望する地域【1. (4)出身地とのクロス結果】



3. 北九州市の企業について

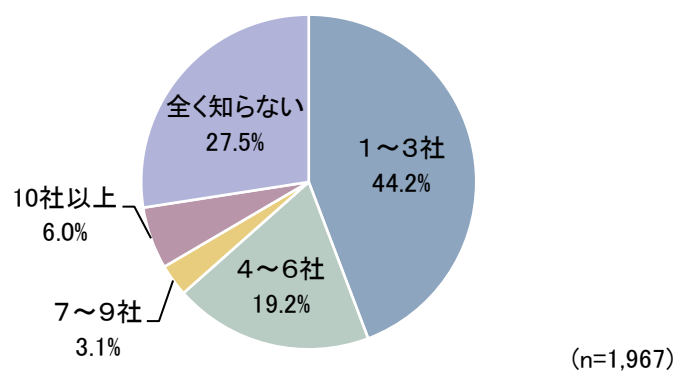
(1) 北九州市内の企業・事業所の認知度

北九州市内の企業・事業所の認知度は、「1～3社」の割合が最も高く 44.2%となっている。次いで、「全く知らない (27.5%)」、「4～6社 (19.2%)」となっている。

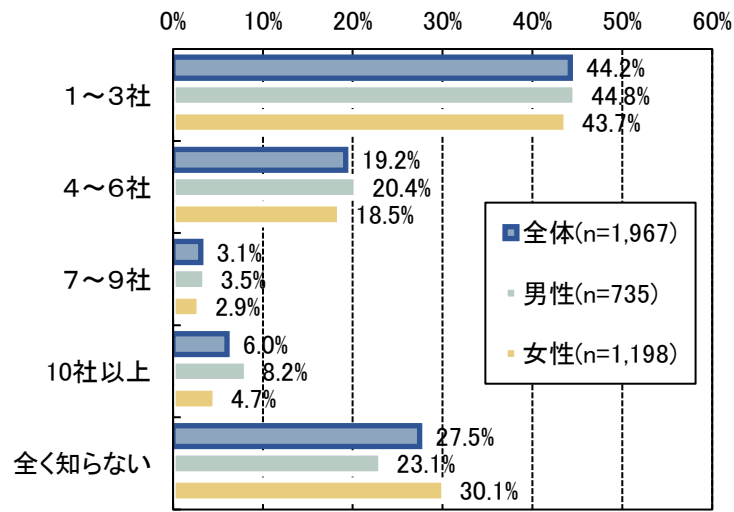
性別によるクロス集計結果 (図表 II-25) を見ると、男女で企業の認知度に大きな差は見られない。

希望する就業先地域とのクロス集計結果 (図表 II-26) を見ると、企業の認知度と就業先地域に大きな差は見られない。

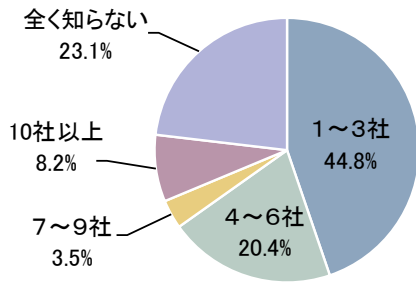
図表 II-24 北九州市内の企業・事業所の認知度



図表 II-25 北九州市内の企業・事業所の認知度【1. (1)性別とのクロス結果】

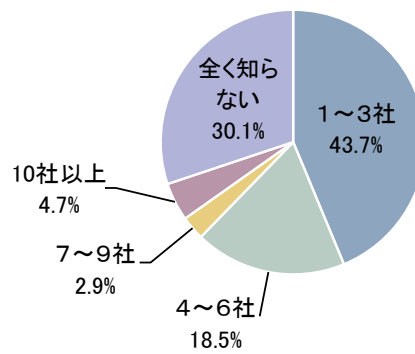


【男性】



男性(n=735)

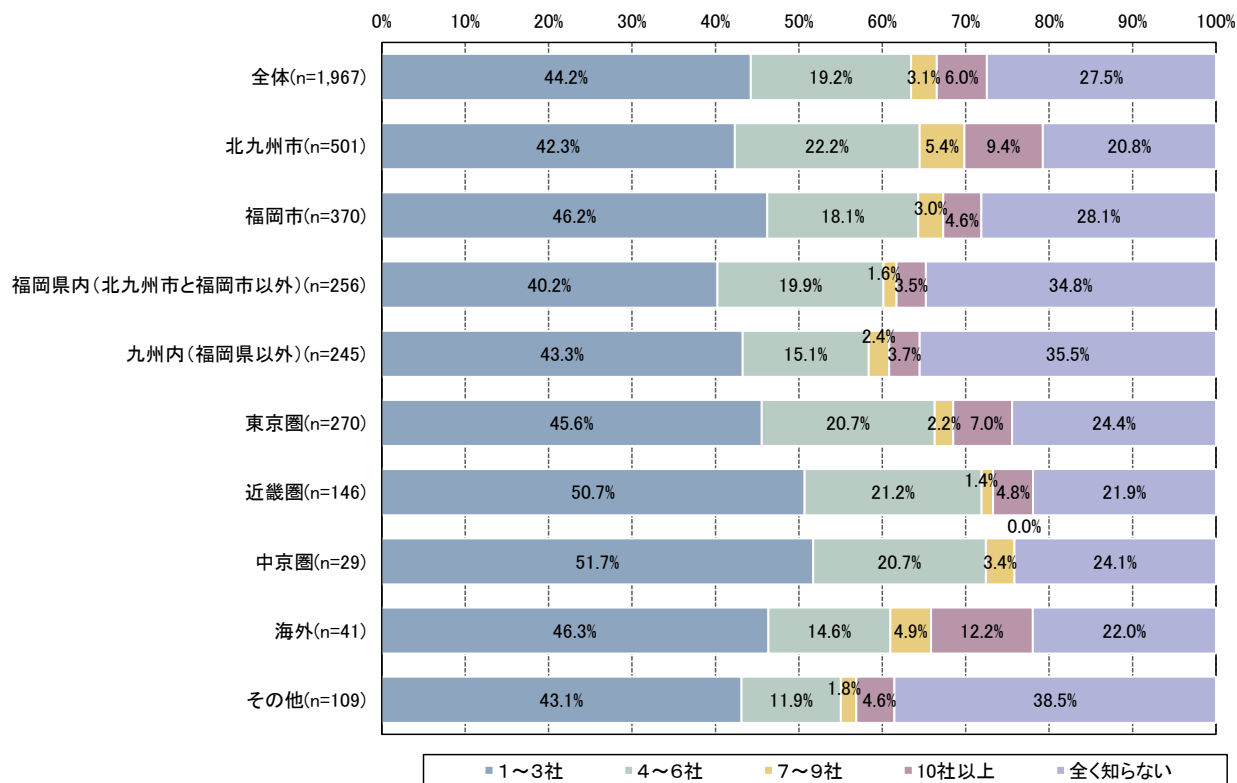
【女性】



女性(n=1,198)

図表 II-26 北九州市内の企業・事業所の認知度

【2. (5)就業先として希望する地域とのクロス結果】



(2)「就業先として希望する地域」で北九州市を選んだ理由

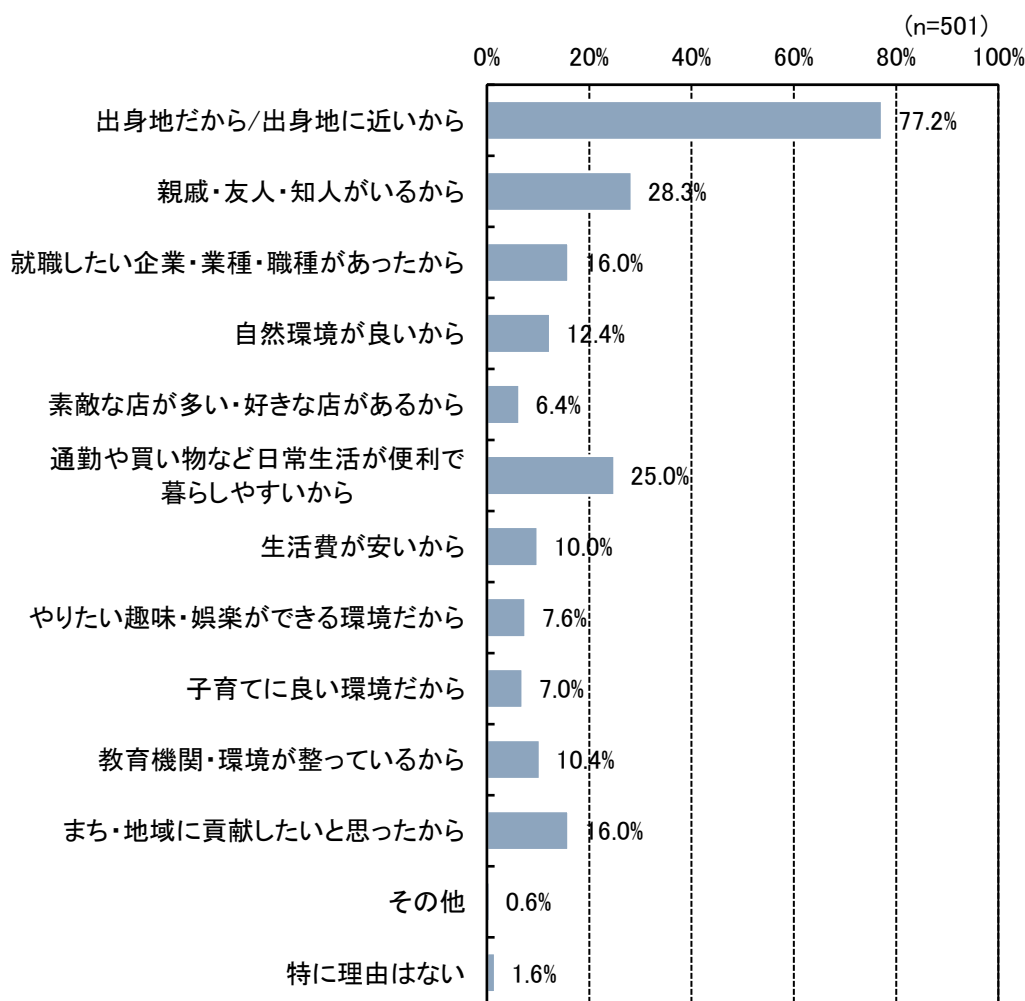
この設問では、2.(5)「就業先として、最も希望する地域」において「北九州市」を選んだ回答者(1,967名のうち、501名)に対して質問を行った。

「就業先として希望する地域」で北九州市を選んだ理由は、「出身地だから/出身地に近いから」の割合が最も高く77.2%となっている。次いで、「親戚・友人・知人がいるから(28.3%)」、「通勤や買い物など日常生活が便利で暮らしやすいから(25.0%)」となっている。

性別によるクロス集計結果(図表II-28)を見ると、女性は「親戚・友人・知人がいるから」という理由を挙げている割合が、男性と比較して多い。

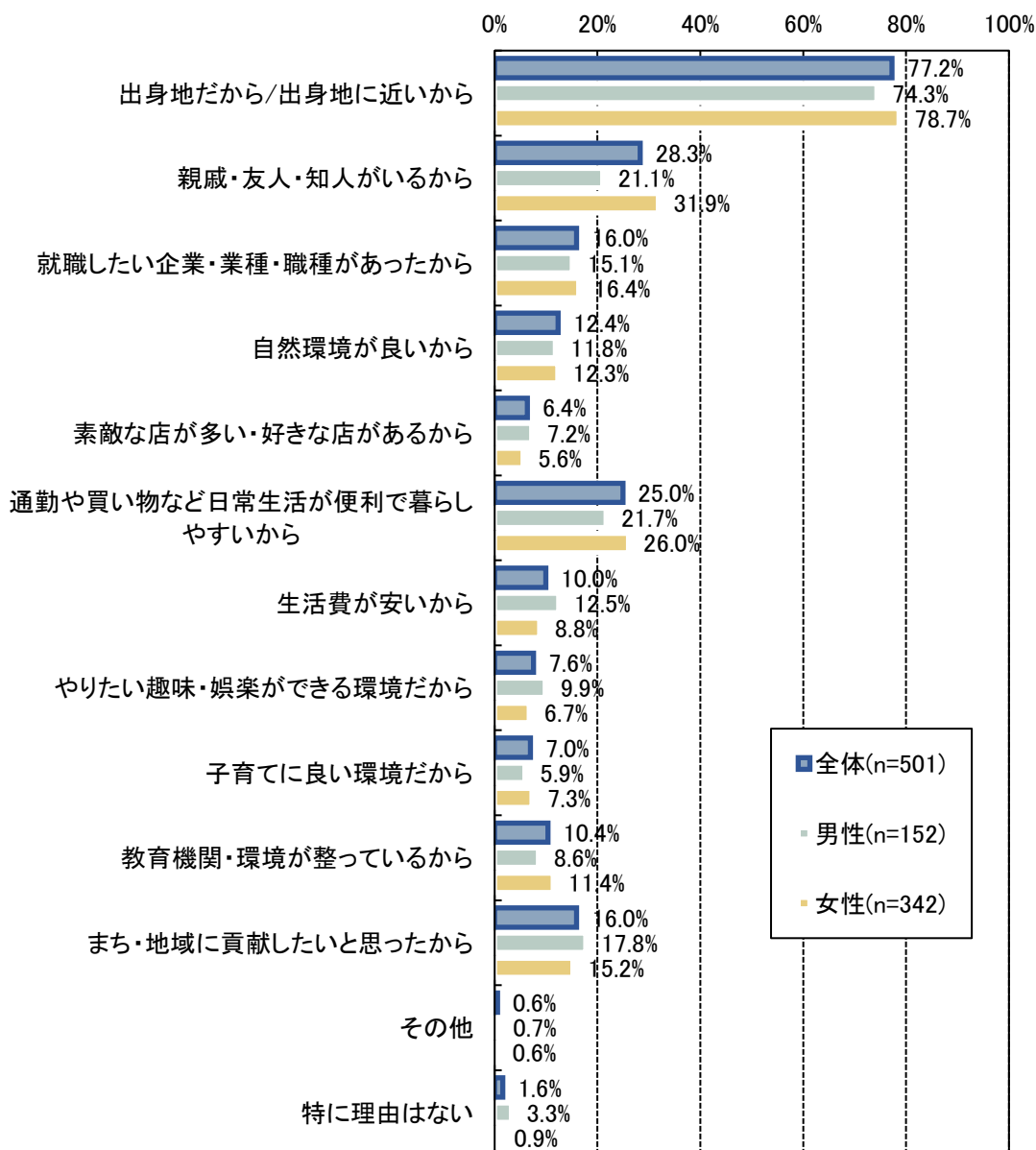
出身地によるクロス集計結果(図表II-29)を見ると、福岡県外の学生は「通勤や買い物など日常生活が便利で暮らしやすいから」、「就職したい企業・業種・職種があったから」、「自然環境が多いから」、「やりたい趣味・娯楽ができる環境だから」を理由に挙げた割合が多い。

図表 II-27 「就業先として希望する地域」で北九州市を選んだ理由(複数回答)



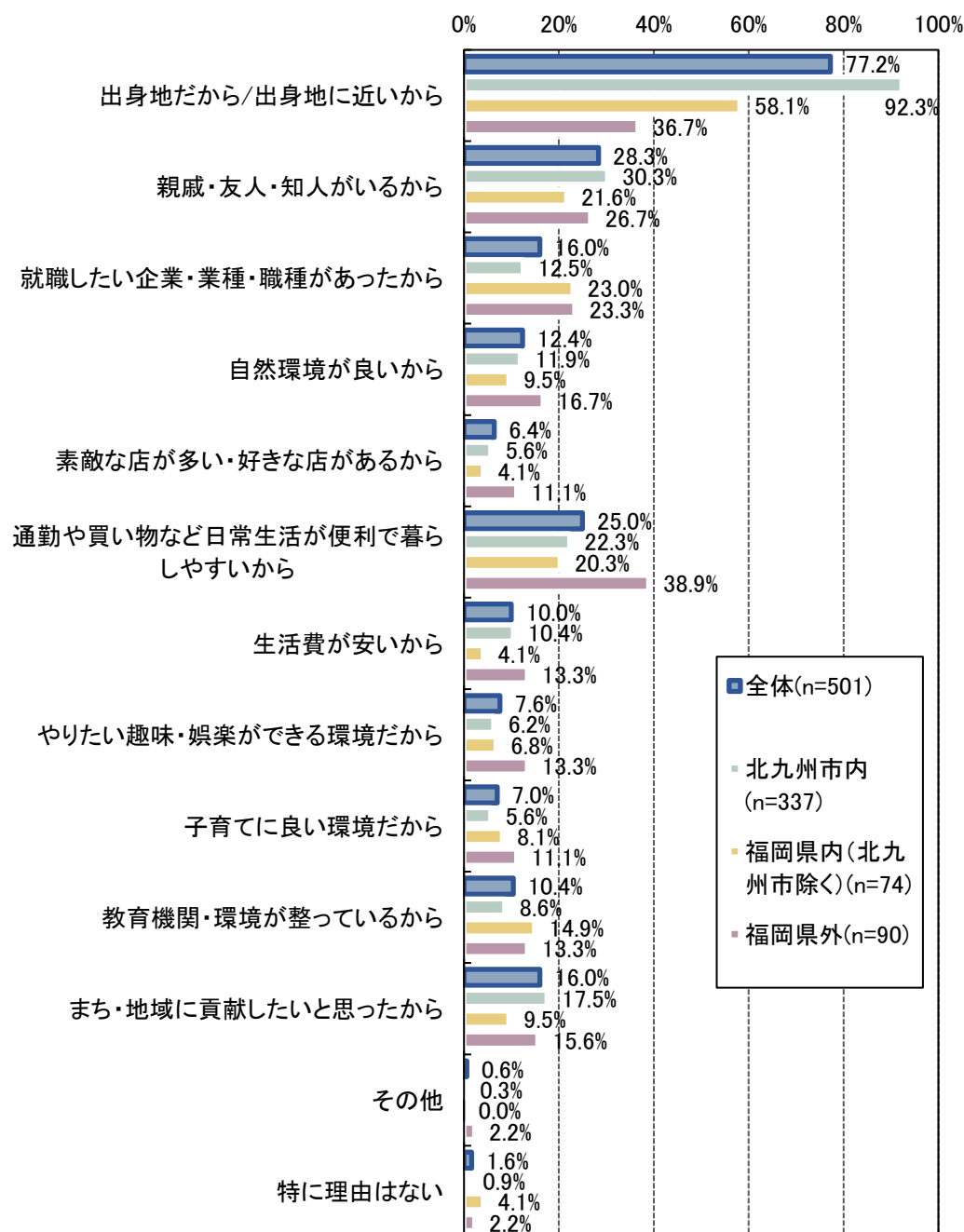
図表 II-28 「就業先として希望する地域」で北九州市を選んだ理由（複数回答）

【1. (1)性別とのクロス結果】



図表 II-29 「就業先として希望する地域」で北九州市を選んだ理由(複数回答)

【1. (4)出身地とのクロス結果】



(3)「就業先として希望する地域」で北九州市以外を選んだ理由

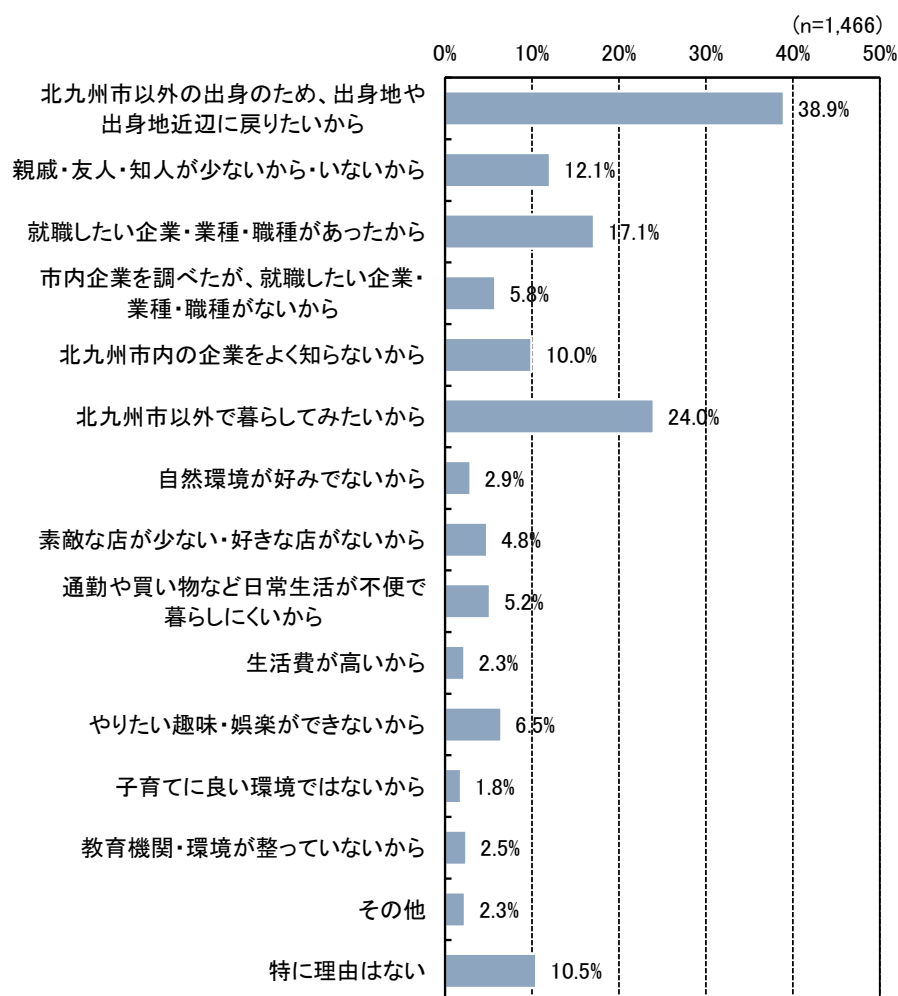
この設問では、2.(5)「就業先として、最も希望する地域」において「北九州市以外」を選んだ回答者(1,967名のうち、1,466名)に対して質問を行った。

「就業先として希望する地域」で北九州市以外を選んだ理由は、「北九州市以外の出身のため、出身地や出身地近辺に戻りたいから」の割合が最も高く38.9%となっている。次いで、「北九州市以外で暮らしてみたいから(24.0%)」、「就職したい企業・業種・職種があったから(17.1%)」となっている。

性別によるクロス集計結果(図表Ⅱ-31)を見ると、男性は「就職したい企業・業種・職種があったから」、「市内企業を調べたが就職したい企業・業種・職種がないから」という理由を挙げている割合が、女性は「北九州市以外の出身のため、出身地や出身地近辺に戻りたいから」、「通勤や買い物など日常生活が不便で暮らしにくいから」という理由を挙げている割合が多い。

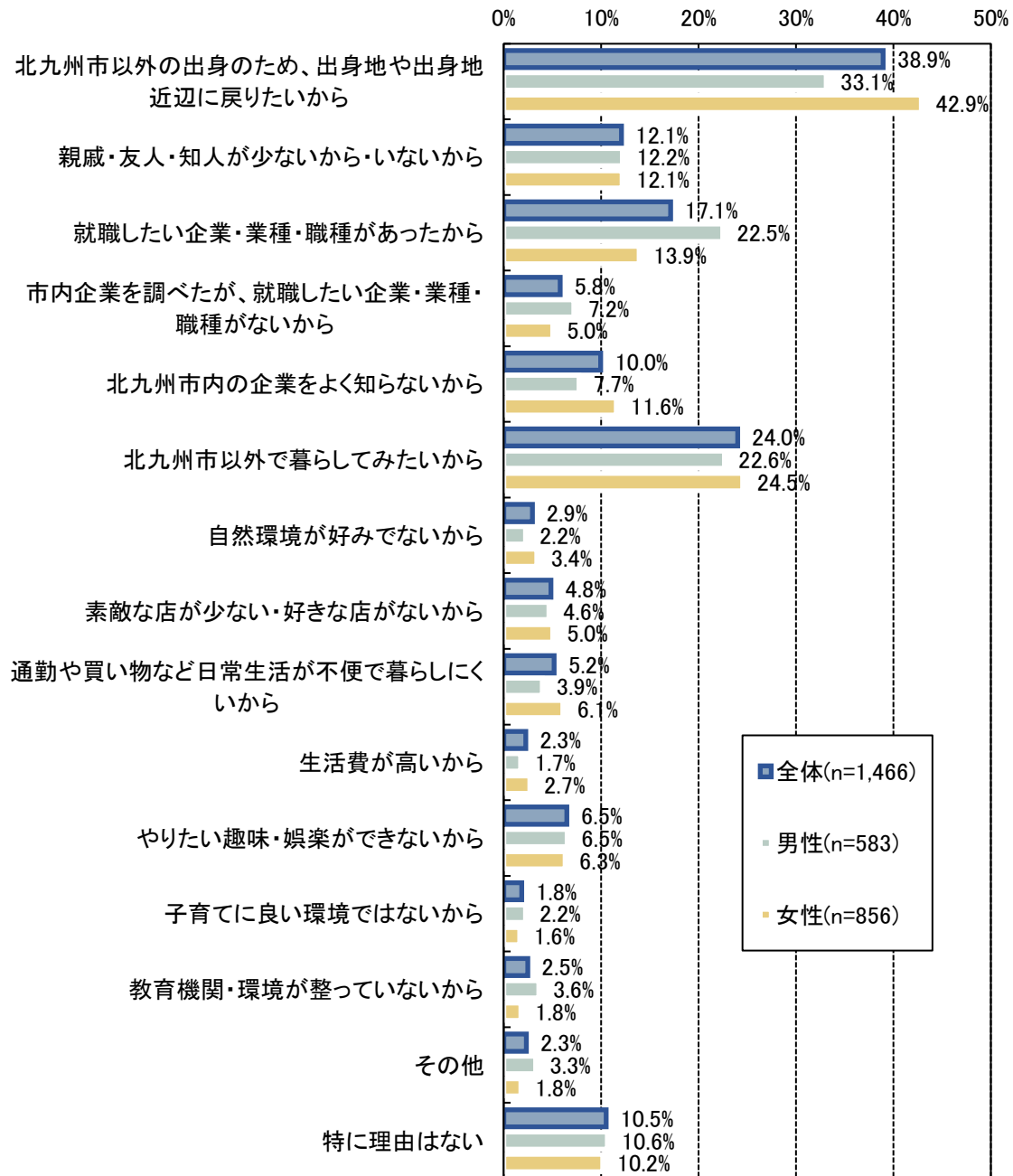
出身地によるクロス集計結果(図表Ⅱ-32)を見ると、北九州市内出身者は「就職したい企業・業種・職種があったから」、「北九州市外で暮らしてみたいから」、「やりたい趣味・娯楽ができないから」を理由に挙げた割合が多い。

図表Ⅱ-30 「就業先として希望する地域」で北九州市以外を選んだ理由(複数回答)



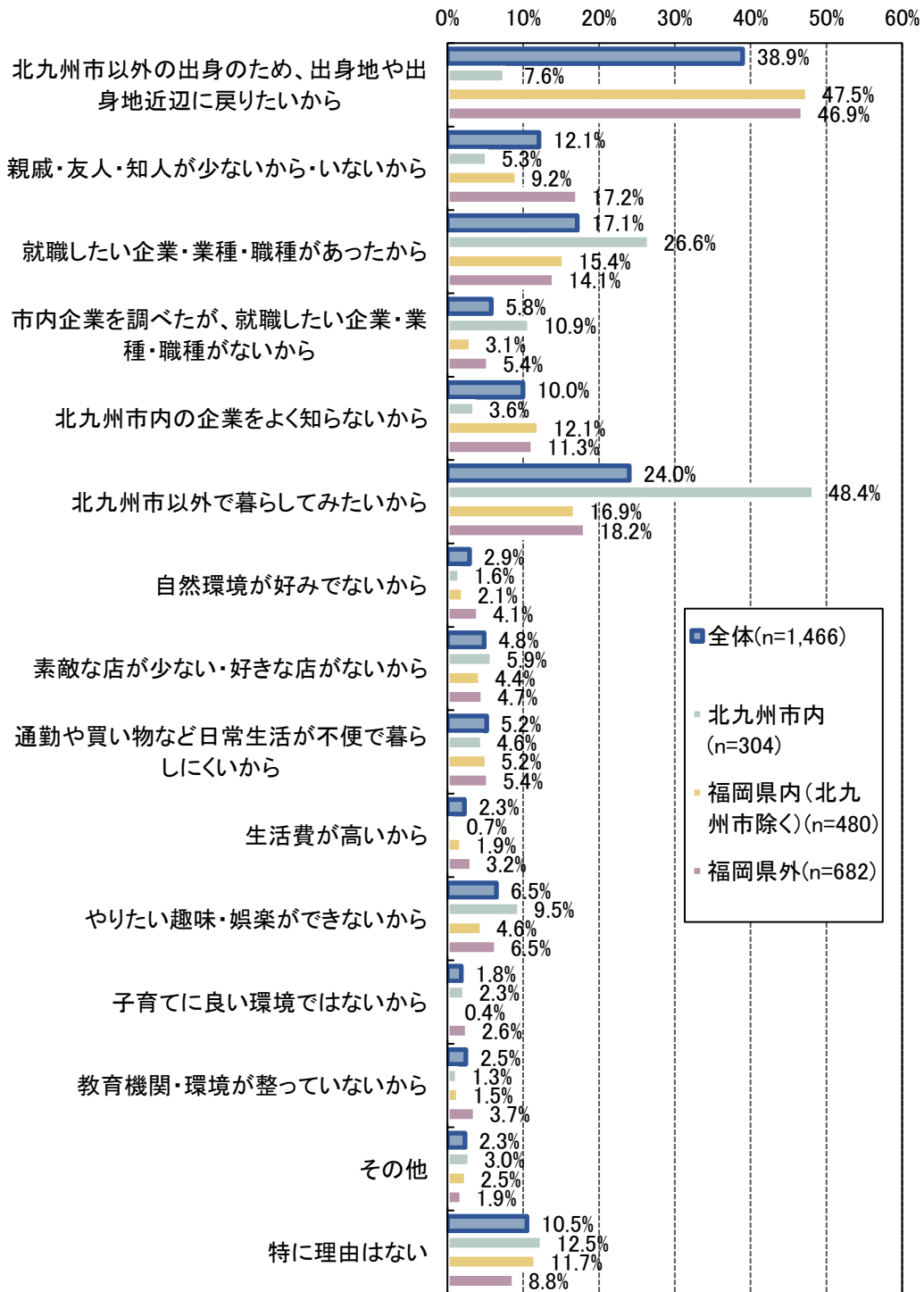
図表 II-31 「就業先として希望する地域」で北九州市以外を選んだ理由(複数回答)

【1. (1)性別とのクロス結果】



図表 II-32 「就業先として希望する地域」で北九州市以外を選んだ理由(複数回答)

【1. (4)出身地とのクロス結果】



(4) 北九州市内の企業に対する就職先としての検討・情報収集状況

この設問では、2. (5)「就業先として、最も希望する地域」において「北九州市」を選んだ回答者（1,967名のうち、501名）に対して質問を行った。

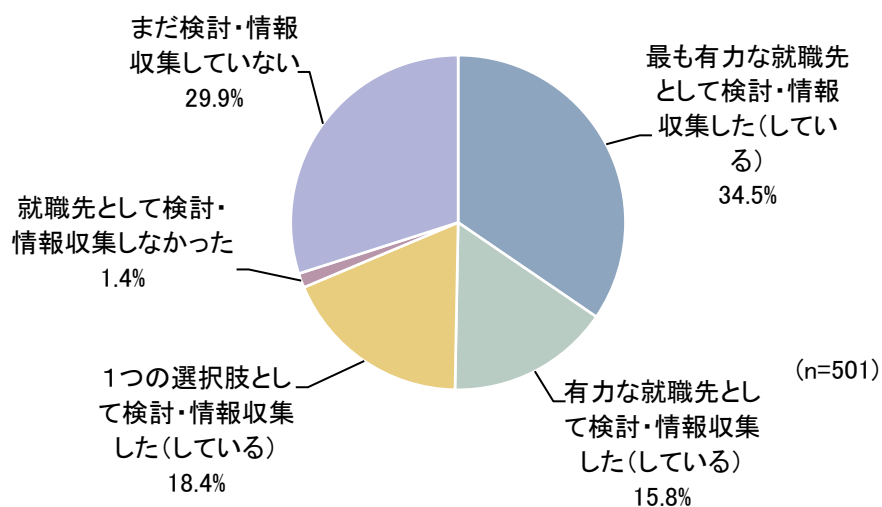
北九州市内の企業に対する就職先としての検討・情報収集状況は、「最も有力な就職先として検討・情報収集した（している）」の割合が最も高く34.5%となっている。次いで、「まだ検討・情報収集していない（29.9%）」、「1つの選択肢として検討・情報収集した（している）（18.4%）」となっている。

学部・専攻（文系・理系）によるクロス集計結果（図表Ⅱ-34）を見ると、文系と理系で情報収集状況に大きな差は見られない。

出身地によるクロス集計結果（図表Ⅱ-35）を見ると、北九州市内出身者は「最も有力な就職先として検討・情報収集した（している）」の割合が、福岡県外出身者は「有力な就職先として検討・情報収集した（している）」の割合が多い。また、福岡県内（北九州市除く）出身者は「1つの選択肢として検討・情報収集した（している）」の割合が多い。

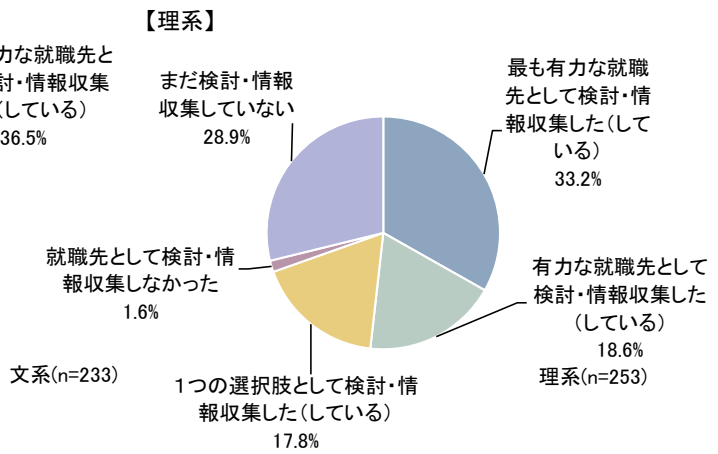
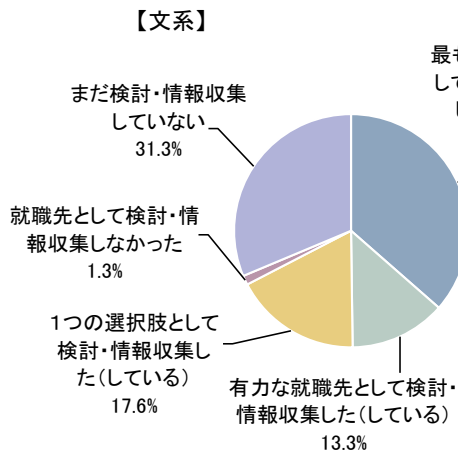
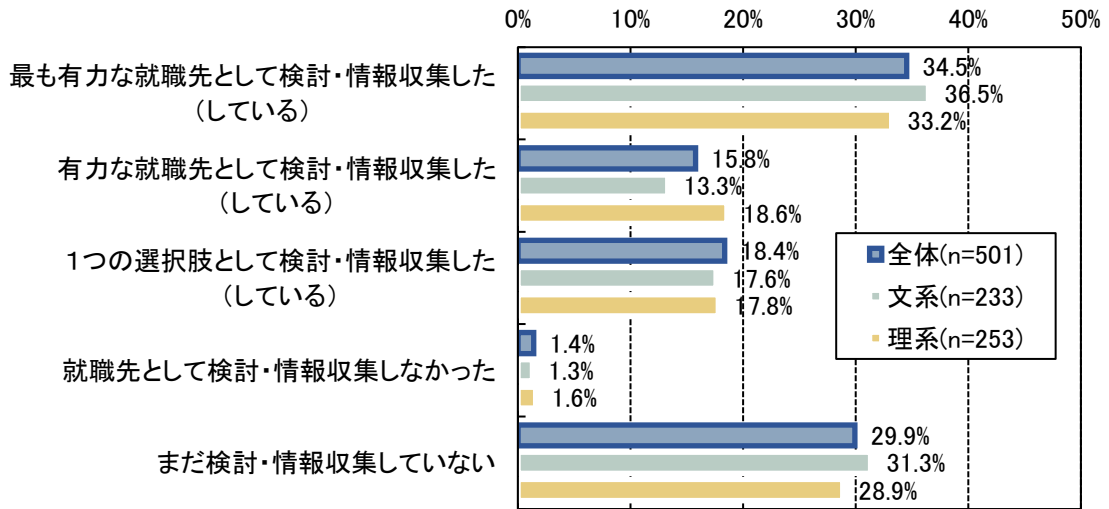
学年によるクロス集計結果（図表Ⅱ-36）を見ると、3・4年は「最も有力な就職先として検討・情報収集した（している）」の割合が、1・2年は「まだ検討・情報収集していない」の割合が多い。

図表Ⅱ-33 北九州市内の企業に対する就職先としての検討・情報収集状況



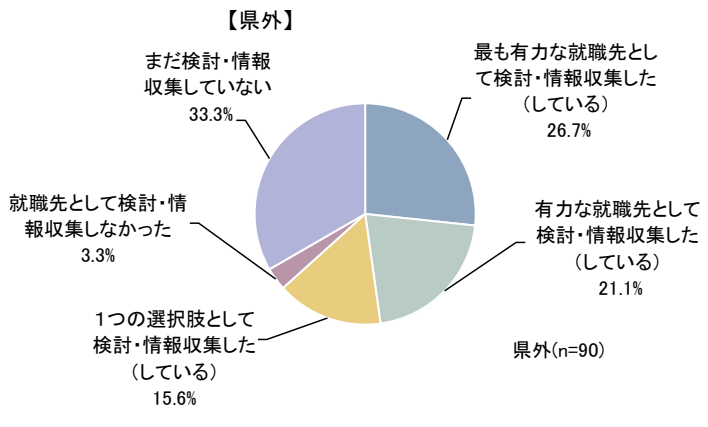
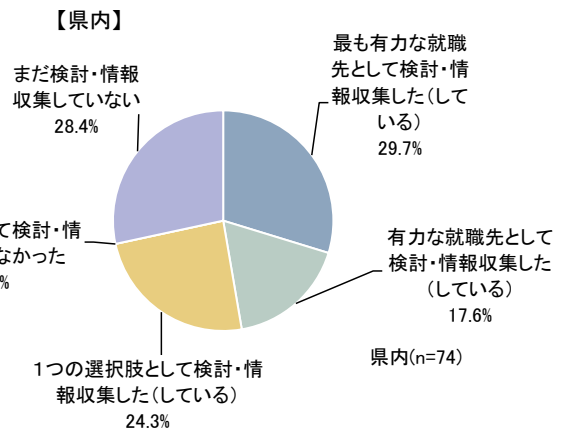
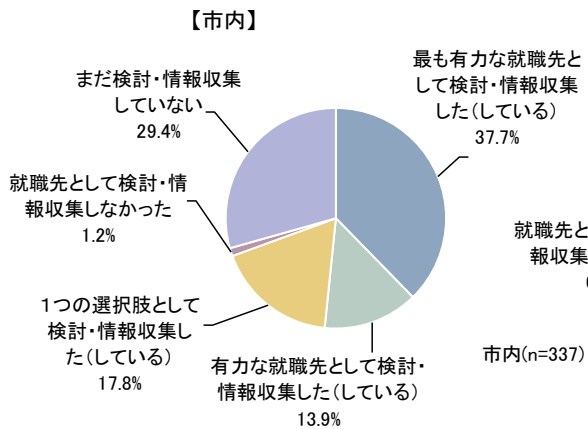
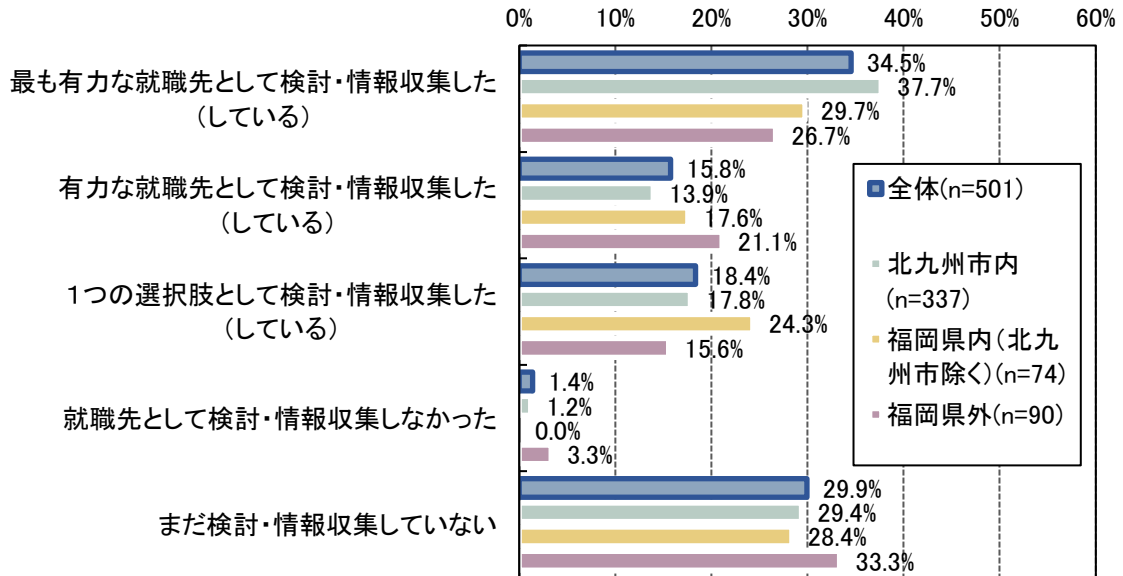
図表 II-34 北九州市内の企業に対する就職先としての検討・情報収集状況

【1. (3)学部・専攻(文系・理系)とのクロス結果】



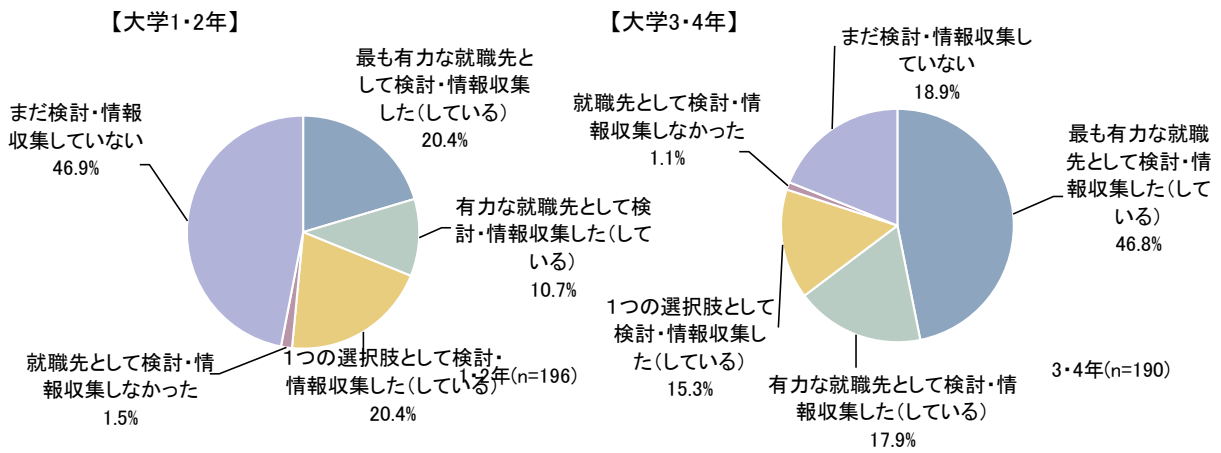
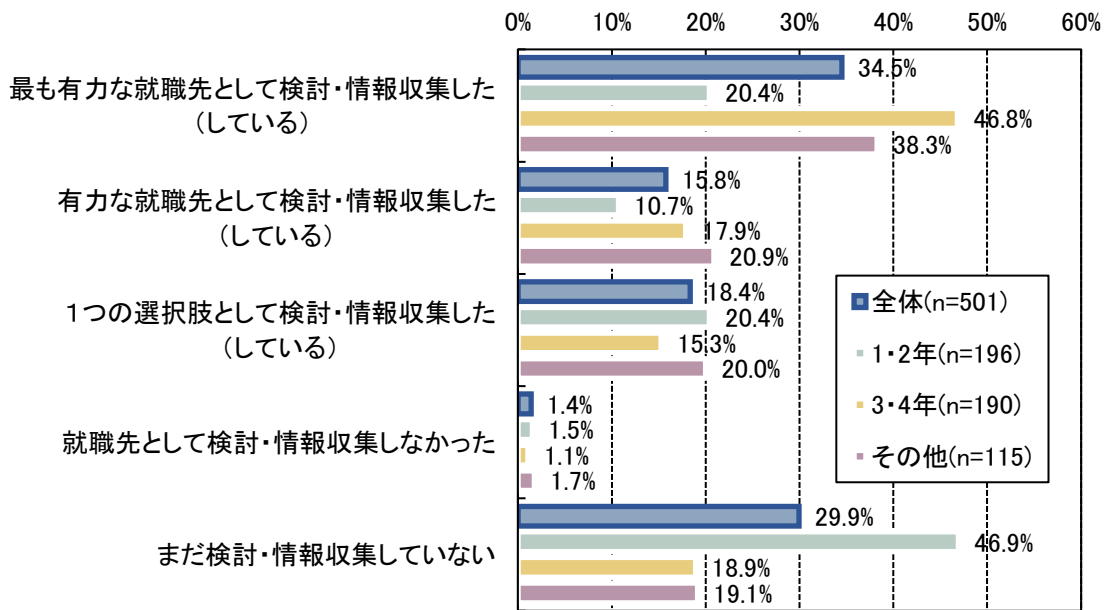
図表 II-35 北九州市内の企業に対する就職先としての検討・情報収集状況

【1. (4)出身地とのクロス結果】



図表 II-36 北九州市内の企業に対する就職先としての検討・情報収集状況

【1. (2)学年とのクロス結果】



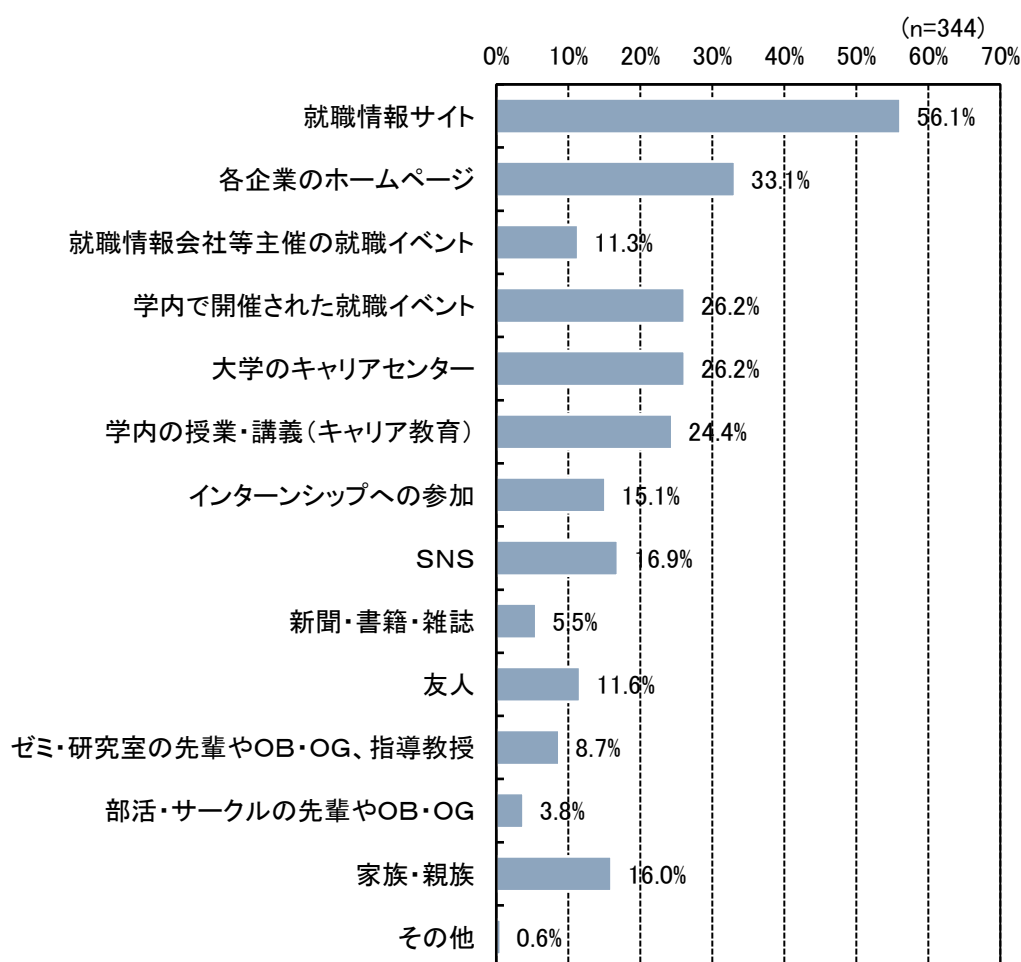
(5) 北九州市内の企業の情報の入手先

この設問では、3. (4)「就業先として、最も希望する地域」において「最も有力な就職先として検討・情報収集した（している）」、「有力な就職先として検討・情報収集した（している）」、「1つの選択肢として検討・情報収集した（している）」を選んだ回答者（501名のうち、344名）に対して質問を行った。

北九州市内の企業の、情報の入手先は、「就職情報サイト」の割合が最も高く 56.1%となっている。次いで、「各企業のホームページ（33.1%）」、「学内で開催された就職イベント（26.2%）」、「大学のキャリアセンター（26.2%）」となっている。

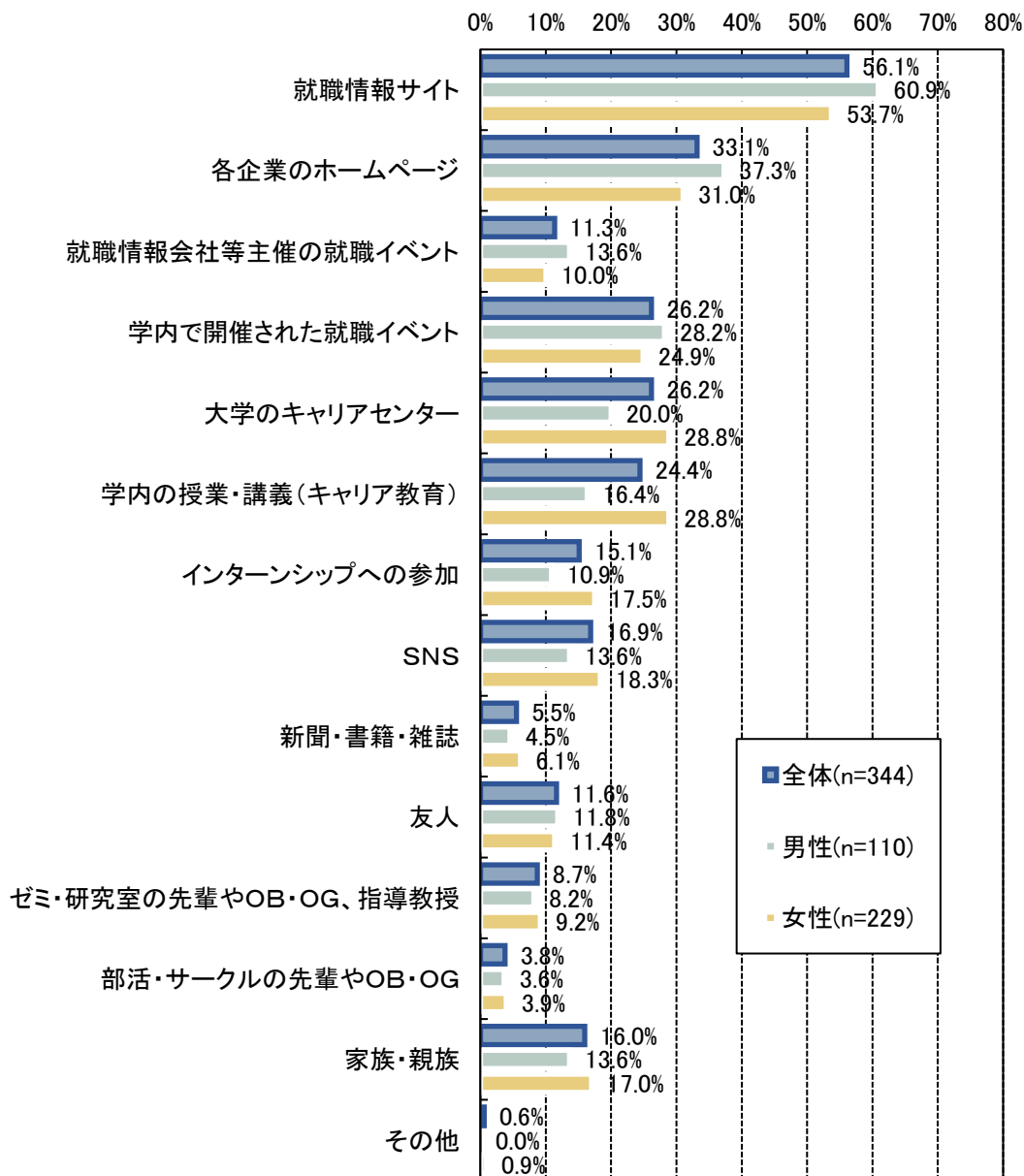
性別によるクロス集計結果（図表Ⅱ-38）を見ると、男性は「就職情報サイト」の割合が、女性は「大学のキャリアセンター」、「学内の授業・講義（キャリア教育）」、「インターンシップへの参加」の割合が多い。

図表Ⅱ-37 北九州市内の企業の、情報の入手先（複数回答）



図表 II-38 北九州市内の企業の、情報の入手先(複数回答)

【1. (1)性別とのクロス結果】

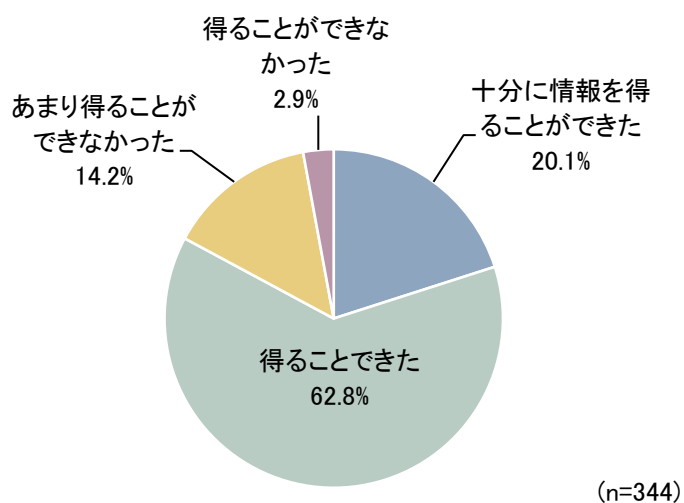


(6) 北九州市内の企業の情報の入手状況

この設問では、3. (4)「就業先として、最も希望する地域」において「最も有力な就職先として検討・情報収集した（している）」、「有力な就職先として検討・情報収集した（している）」、「1つの選択肢として検討・情報収集した（している）」を選んだ回答者（501名のうち、344名）に対して質問を行った。

北九州市内の企業の情報の入手状況は、「得ることができた」の割合が最も高く 62.8%となっている。次いで、「十分に情報を得ることができた（20.1%）」、「あまり得ることができなかった（14.2%）」となっている。

図表 II-39 北九州市内の企業の、情報の入手状況

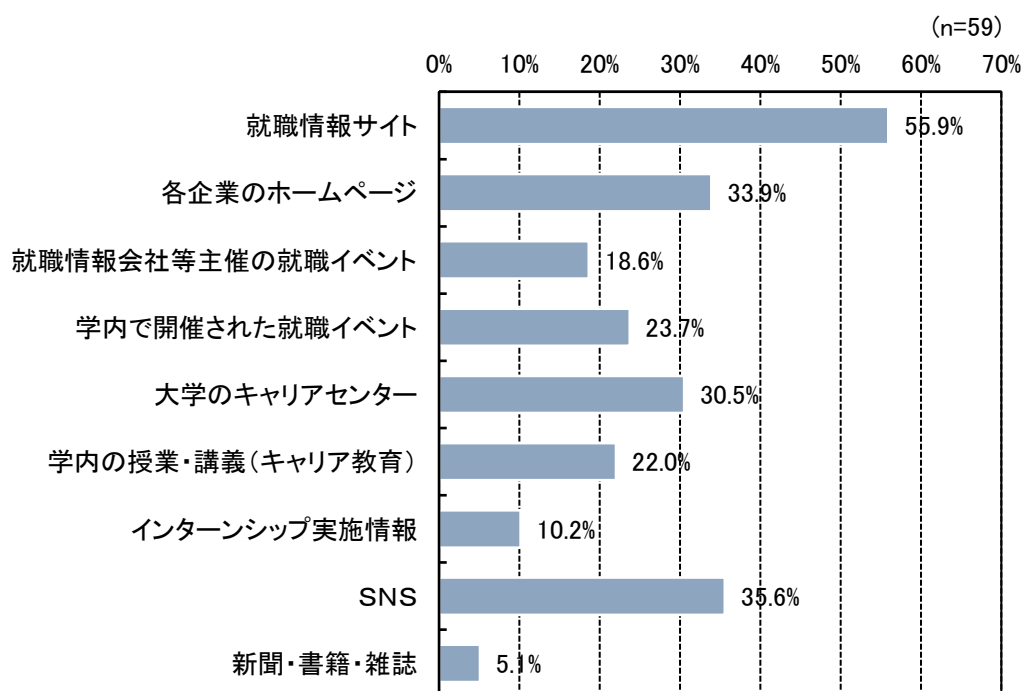


(7) 北九州市内の企業の情報発信について充実すべき内容

この設問では「北九州市内企業の情報の入手状況」で「あまり得ることができなかった」「得ることができなかった」を選んだ回答者（354名のうち、59名）に対して質問を行った。

北九州市内の企業の情報発信について、どの内容を充実したらよいと思うか聞いたところ、「就職情報サイト」の割合が最も高く55.9%となっている。次いで、「SNS（35.6%）」、「各企業のホームページ（33.9%）」となっている。

図表 II-40 北九州市内の企業の情報発信について充実すべき内容(複数回答)



(8) 北九州市内の企業について知りたい情報

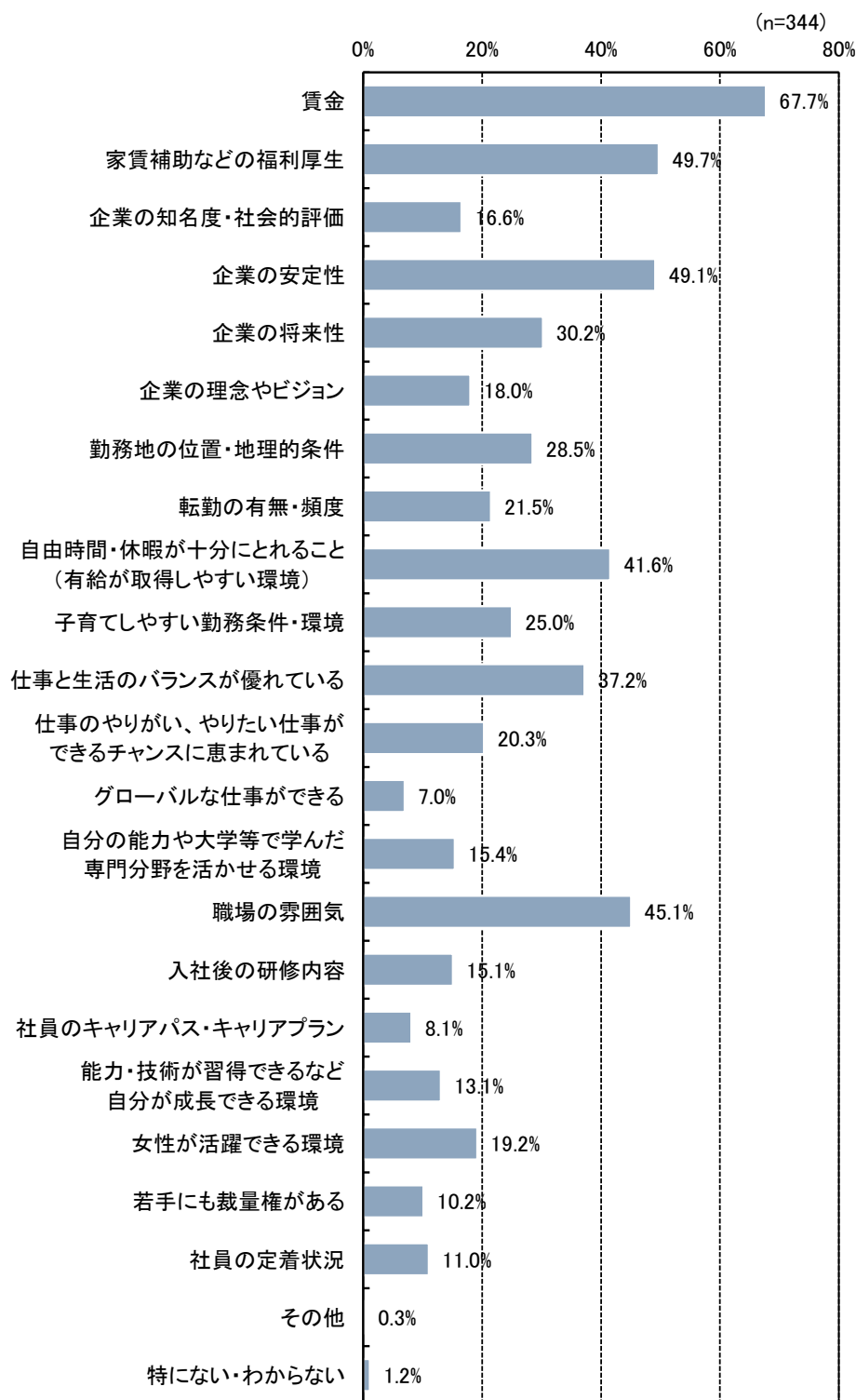
この設問では、3. (4)「就業先として、最も希望する地域」において「最も有力な就職先として検討・情報収集した（している）」、「有力な就職先として検討・情報収集した（している）」、「1つの選択肢として検討・情報収集した（している）」を選んだ回答者（501名のうち、344名）に対して質問を行った。

北九州市内の企業について知りたい情報は、「賃金」の割合が最も高く 67.7%となっている。次いで、「家賃補助などの福利厚生（49.7%）」、「企業の安定性（49.1%）」となっている。

性別によるクロス集計結果（図表Ⅱ-42）を見ると、女性は「家賃補助などの福利厚生」、「自由時間・休暇が十分に取れること（有休が取得しやすい環境）」、「仕事と生活のバランスが優れている」、「職場の雰囲気」と回答した割合が多い。

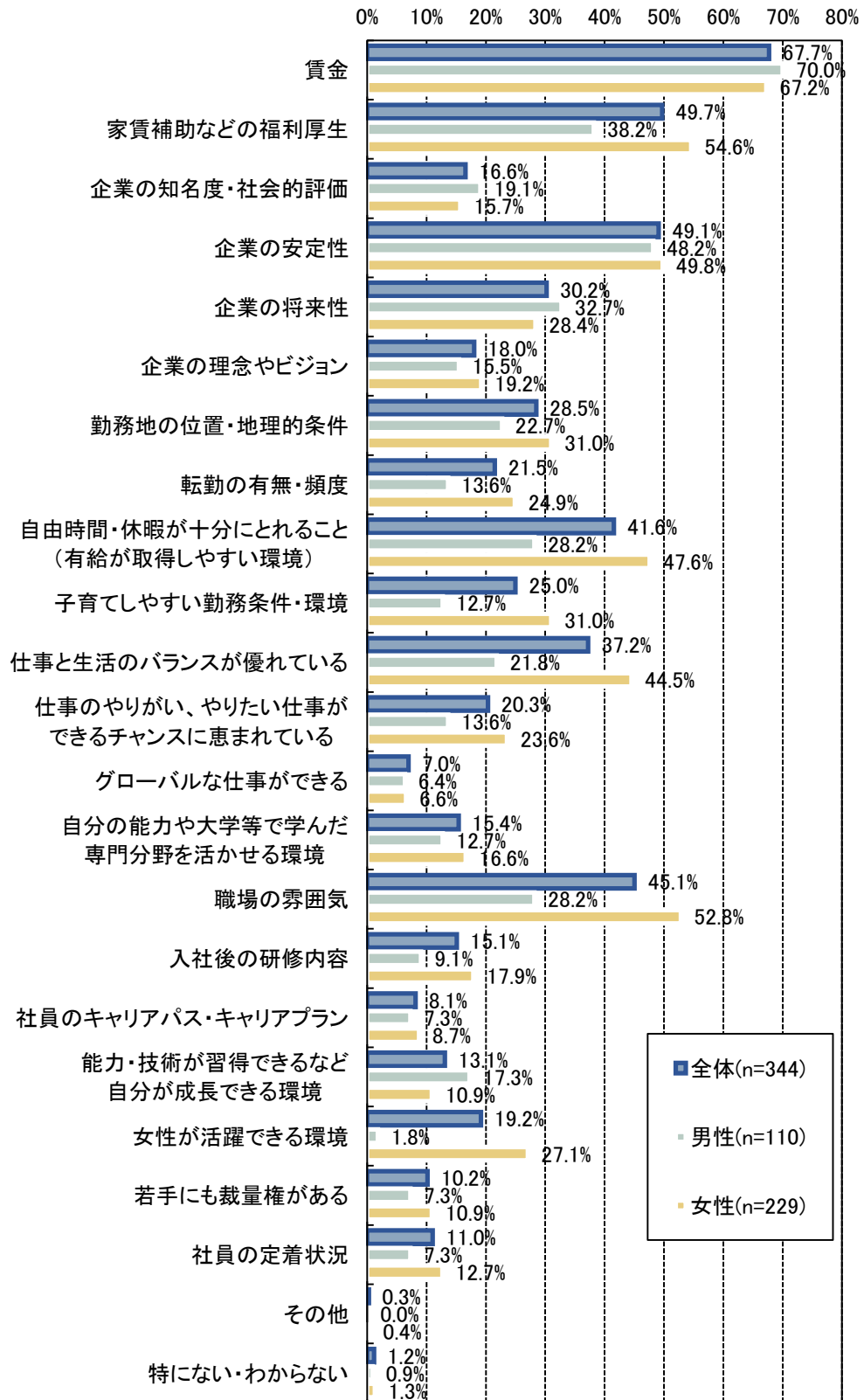
2. (1)「就職する際に重要視するもの」の結果（1,967名が回答）と比較すると（図表Ⅱ-43）、大きな傾向は概ね変わらないものの、「家賃補助などの福利厚生」の割合は多くなっており、「仕事のやりがい、やりたい仕事ができるチャンスに恵まれている」の割合は少なくなっている。

図表 II-41 北九州市内の企業について知りたい情報(複数回答)



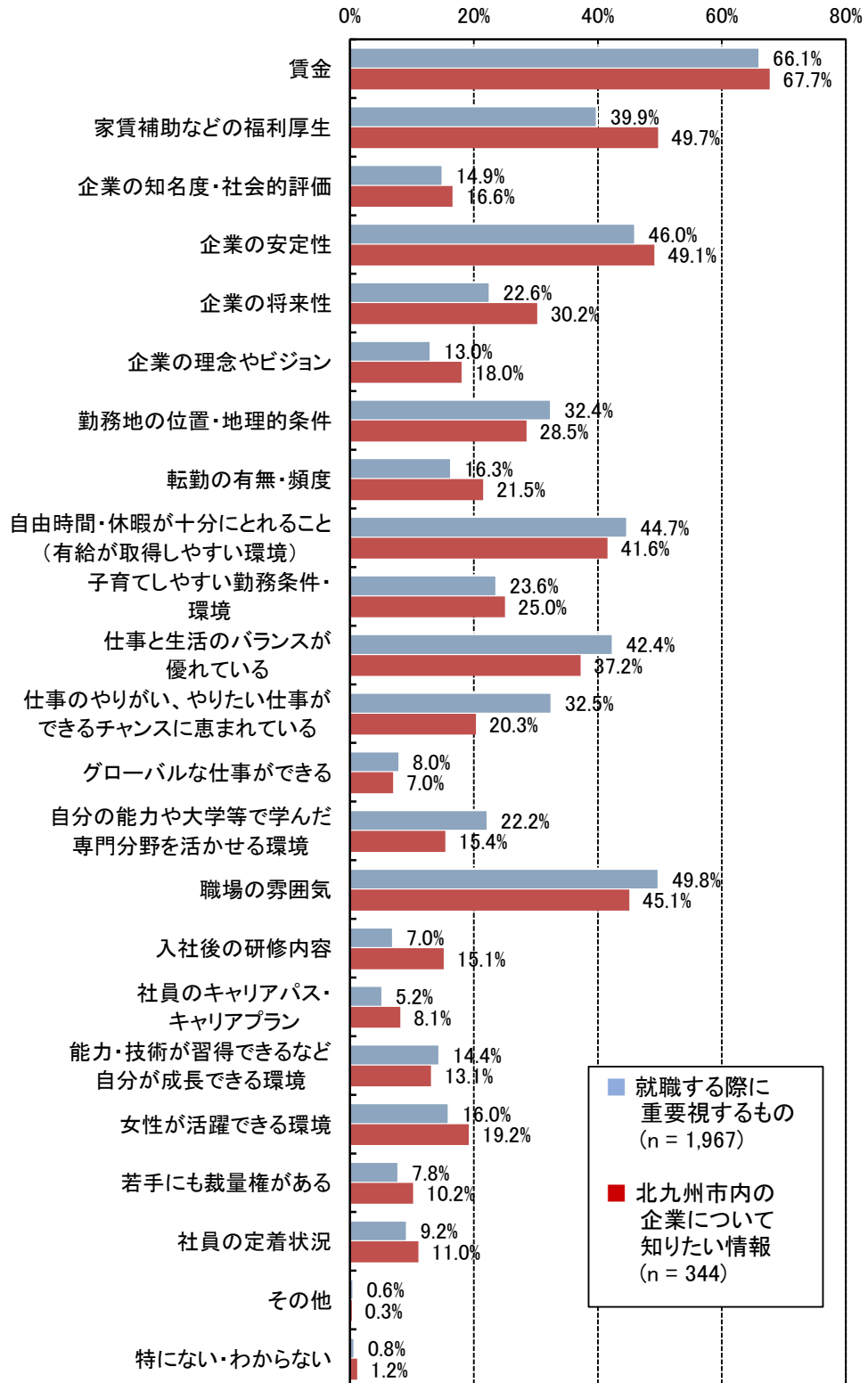
図表 II-42 北九州市内の企業について知りたい情報(複数回答)

【1. (1)性別とのクロス結果】



図表 II-43 北九州市内の企業について知りたい情報(複数回答)

【2. (1)就職する際に重要視するものとの比較】



4. 興味のある企業について

(1) 就職したい、興味のある企業

この設問では、全回答者に対し、就職したい、興味のある企業名を具体的に自由記述で質問を行った。TOTO 株式会社や株式会社安川電機、シャボン玉石けん株式会社などの地元の企業の名前が多く上がったほか、北九州市役所を挙げる学生も多くみられた（図表Ⅱ-44）。

回答された企業を業界で分類したところ、自動車・化学を除くメーカー関係の企業名が多く挙がっていたほか、公務員を挙げる学生も多かった。回答学生の属性から、医療機関等の名前も多く挙がった（図表Ⅱ-45）。

図表Ⅱ-44 就職したい、興味のある企業ランキング上位

回答数 20 以上の企業	・TOTO 株式会社(回答数 24) ・株式会社安川電機(回答数 22) ・トヨタ自動車株式会社(回答数 21)
回答数 10 以上の企業	・北九州市役所(回答数 18) ・全日本空輸株式会社(ANA)(回答数 11) ・日本航空株式会社(JAL)(回答数 11)
回答数 5 以上の企業	・シャボン玉石けん株式会社(回答数 9) ・ソニー株式会社(回答数 9) ・パナソニックホールディングス株式会社 (回答数 6) ・大英産業株式会社(回答数 6) ・九州電力株式会社(回答数 5) ・株式会社三井ハイテック(回答数 5) ・日鉄エンジニアリング株式会社(回答数 5) ・九州旅客鉄道株式会社(回答数 5)

図表 II-45 就職したい、興味のある業界

